



ランナー調査研究レポート

【調査研究の結果概要】

- ◇調査に回答したランナーの完走タイム（自己ベスト）は、サブ3が3.0%、サブ4が40.8%、サブ5が39.0%、5時間以上あるいは完走経験なしが17.2%となっている。
- ◇大会満足度では、スタッフ・ボランティアの対応、ランナーへの応援・励まし・エールについて、95%以上のランナーが満足したと回答したほか、大会ホームページ、参加案内パンフレットのわかりやすさなどで高い評価となっている。
- ◇京都マラソンのボランティアに参加した経験がある者は5.2%（2016大会：5.5%、2015大会：2.6%）。前回大会から設けた「ボランティア経験者枠」により、ランナーとボランティアとの相互交流が継続していると考えられる。
- ◇宿泊した者は回答者の約半数であり、市外参加者のうち83.5%が宿泊した。
- ◇総合的な評価では、100点満点中87.0点が平均点となった（2016大会：88.6点、2015大会：86.7点、2014大会：84.4点）。回答したランナーの94.2%が次回大会にも参加したいと答えている。

京都マラソン実行委員会事務局
(京都市文化市民局市民スポーツ振興室)

調査研究：京都マラソン2017 マネジメント・リサーチ・チーム
同志社大学スポーツ健康科学部二宮研究室
龍谷大学経営学部松永研究室
立命館大学スポーツ健康科学部長積研究室

目次

- I. 京都マラソン 2017 大会の概要について
- II. 京都マラソン 2017 の総括
- III. 調査研究の概要
- IV. 調査研究の分析
 1. 個人属性
 - 1-1)性別と年代 1-2)職業 1-3)世帯所得 1-4)最終学歴
 2. ランニング活動
 - 2-1)フルマラソン完走タイム<自己ベスト> (京都マラソン 2017 含む) 2-2)フルマラソン完走回数 2-3)京都マラソンの参加経験 2-4)1年間のランニング大会の出場回数 2-5)ランニング歴(継続年数) 2-6)月間平均走行頻度(1カ月あたりに走る日数) 2-7)月間平均走行距離(1カ月あたりに走る距離) 2-8)ランニングクラブへの所属
 3. イベント満足度・評価
 - 3-1)大会満足度 1(大会全体) 3-2)大会満足度 2(スタート) 3-3)大会満足度 3(コース) 3-4)大会満足度 4(フィニッシュ) 3-5)スタート会場の衣類回収について 3-6)走りにくいところ 3-7)走りにくい理由 3-8)河川敷について 3-9)お疲れさま広場の利用 3-10)フィニッシュ会場からの帰りルート 3-11)フィニッシュからの最初の交通手段 3-12)参加賞の希望 3-13)よかったと思う給食メニュー 3-14)京都マラソン 2017 の点数(100 点満点) 3-15)京都マラソン 2018 への参加意欲
 4. 大会参加について
 - 4-1)京都マラソン会場までの交通手段 4-2)自宅から会場までの所要時間 4-3)宿泊の有無 4-4)宿泊した場所 4-5)同伴者数及び傾向 4-6-1)性別による情報入手ルート 4-6-2)年代別の情報入手ルート 4-7-1)性別による参加理由 4-7-2)年代別の参加理由 4-8)京都マラソンのボランティア経験
 5. 京都について
 - 5-1)京都のイメージ 5-2)京都への愛着 5-3)京都への思い
 6. 自由記述意見について

I. 京都マラソン 2017 大会の概要について

第6回大会となる京都マラソン 2017 大会は、駅伝発祥 100 年及び西陣織発祥 550 年を記念して、ペア駅伝のタスキやフィニッシュテープを西陣織で製作した。また、東日本大震災復興支援の一環として実施しているランナー派遣について、仙台国際ハーフマラソンに加え、一関国際ハーフマラソン及び会津若松市鶴ヶ城ハーフマラソンの2大会へも新たに派遣した。

スタート会場である西京極総合運動公園内の施設の改修工事を実施することから、ランナーへの影響を最小限に抑えつつ、利便性向上の観点から会場レイアウトの工夫をした。まず、補助競技場を全面的に改修することから、当該エリアに配置していたランナーブロックを園路内に配置した。また、メイン会場の一部のトイレを改修することから、仮設トイレを主に4つのエリアに約180基増やして配置した。

走路環境については、ランナーからの意見を踏まえ、宝ヶ池通の折り返し地点の廃止や下鴨中通から下鴨本通への走路変更など、前回大会に引き続き北山エリアを改善した。

ランナー募集について、京都市民枠を100人増員し、ふるさと納税枠については、定員を初めて充足した。また、駅伝発祥100年を記念してペア駅伝の定員を200組へ倍増させ、そのうち同一区民枠となる地域の絆・つながり枠を50組新設した。

海外からは、29の国及び地域から2,642人が参加した。

完走者は、17,252人中16,083人となり、完走率は93.2%であった。

		前回
日 時	平成29年2月19日(日) ※2月第3日曜日 8:55 車いす競技 スタート 9:00 マラソン・ペア駅伝 スタート 15:00 マラソン・ペア駅伝 終了	※同左 (2月21日(日))
天 気	9時(スタート会場) 晴れ、11.0℃、湿度55% 15時(フィニッシュ会場) 晴れ、13.0℃、湿度44%	晴れ、12.0℃、56% くもり、11.7℃、47%
出走者	マラソン 16,858名 ペア駅伝 384名 車いす競技 10名 計17,252名 (完走者16,083名、完走率93.2%)	16,000名 (15,112名 94.5%)
競技コース	1 マラソン・ペア駅伝 西京極総合運動公園～平安神宮前(42.195km) (日本陸上競技連盟、国際陸上競技連盟及び国際マラソン・ロードレース協会公認) 2 車いす競技 西京極総合運動公園～嵐山(6.1km)	同左
スタッフ数	約14,900名	約15,300名
応援人数	約519,000名	約502,600名
おこしやす広場 入場者数	約29,900名	約26,500名

II. 京都マラソン 2017 の総括 (●は新規、○は大幅拡充)

(1) 競技運営

・より安心・安全かつ円滑に競技運営を行うための各種対策を充実・強化した結果、大きな事故や重い救護案件もなく大会を終えることができた。

・ランナー評価は引続き高水準を維持し、民間調査(※)で 91.1 点(前回 93.4 点)を獲得した。

(※) 国内最大級のランニングポータルサイト「ランネット」に寄せられたランナー評価の集計

取組	概要・実施結果
ア コース	<ul style="list-style-type: none"> ●北山通周辺の走路環境を向上 ・下鴨中通（往復各 1 車線）から下鴨本通（往復各 2 車線）に変更、北山通を東に延伸し、宝ヶ池通（折返し）を廃止 ・スタート会場の改修工事に伴うランナーブロック等のレイアウト変更及び仮設トイレエリアの設置
イ 走路対策	<ul style="list-style-type: none"> ・積雪・凍結時に備え、除雪車等を配備（結果、不使用）
ウ ランナー対策	<ul style="list-style-type: none"> ●スタートブロックに S ブロックを追加（A ブロックの細分化により、スタート時のランナーの走力差による接触事故を防止） ・ランナーの防寒衣類をスタート後に回収、リユース・リサイクル →1,750kg 回収 ○給食メニューを充実（飴、せんべい、チョコレート菓子等を追加）
エ 医療救護対策	<ul style="list-style-type: none"> ・京都府医師会等、医療関係者の協力のもと、救護所・救護車、コース沿道の救護サポーターなどの体制を構築（AED124 台を配備） ・緊急時の臨時救護所となる「高度救急救護車」を配備 ・救護 392 件（前回 373 件）、救急搬送 8 件（前回 11 件）※AED 不使用 ・心肺蘇生や AED 使用に関する「ファーストエイド講習」を 2 回実施 →49 名参加(前回 57 名)
オ 警備対策	<ul style="list-style-type: none"> ・京都府警察と連携した会場等巡回、応援者手荷物検査等を実施

(2) 交通総量抑制対策等

大会当日を「ノーマイカーデー」に設定し、様々な媒体を通して市民の皆様や事業者、観光客への広報・周知に努めるとともに、緊急自動車・公共交通機関の円滑な運行の確保に努めた結果、大会に起因する大規模な交通渋滞は発生しなかった。

取組	概要・実施結果
ア 交通総量抑制対策	<ul style="list-style-type: none"> ・市民しんぶん・チラシ・ポスター・啓発グッズ・歩道橋横断幕、市バス・地下鉄広告など多様な媒体を活用した周知 →市民・事業者・観光客等のご協力の結果、大会に起因する大規模な交通渋滞は発生せず ・広域迂回・直近誘導対策等を実施
イ 公共交通対策	<ul style="list-style-type: none"> ・市バス無料乗車券の配布、路線バス利用促進を広報 →15,393 枚の利用（前回 14,377 枚） ※当日、市バス 前回比△0.6%（△1,491 人）の利用者減（*） 地下鉄 前回比+2.9%（+16,422 人）の利用者増

	<p>(*) 前回の 2016 大会 (2/21) は東寺の弘法市も開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・無料シャトルタクシーの運行 →30 台運行、1,205 人が利用
ウ 緊急車両対策	<ul style="list-style-type: none"> ・京都府警察・消防局等と連携のうえ、ランナーストップ体制の配備、広域迂回・直近誘導対策等を実施 →救急車通行のためランナーストップを 3 回実施 (通行後速やかにレース再開)

(2) 沿道住民合意形成

コース沿道等の住民・事業者に対し、アンケートやチラシ等を各戸配布し、きめ細やかに情報を提供するほか、聴取したご意見・ご要望を踏まえ、可能な限りコース横断対策や交通規制の早期解除に努めた。

取組	概要・実施結果
ア 説明・周知	<ul style="list-style-type: none"> ・沿道住民・事業者 (12 万世帯) へ交通規制マップ等を配布 ・市民しんぶんへの挟み込みや学校・施設等でのチラシ配布により全世帯に周知
イ 通行・コース横断	<ul style="list-style-type: none"> ・ランナーの走行を妨げずに歩行者を横断させる「固定式島方式」を設置 (13 箇所) →22,188 人が横断 (前回比約 2 割増) ・ランナーの切れ目での横断誘導を実施
ウ 交通規制開始・解除	<ul style="list-style-type: none"> ・速やかな交通規制解除のための時間制限関門を設置 (8 箇所) ・大会ホームページを通じ規制解除情報を逐次発表 ○交通規制時間の短縮 (規制開始時間を 5 分~15 分後倒し)

(4) その他

大会のメインコンセプトの具現化に努めるとともに、地域各団体・市民の皆様のご協力の下、京都ならではの温かいおもてなしや応援等により、第 6 回大会を盛り上げた。

取組	概要・実施結果
ア メインコンセプトの具現化	
(ア) 「DO YOU KYOTO? マラソン」	<ul style="list-style-type: none"> ・大会当日「ノーマイカーデー」、水素カーの活用、水道水給水、マイボトル給水等 ○当日のランナー防寒衣類回収に加え、2 月末までボランティアウェアを各区役所等で回収し、リユース・リサイクル →ボランティアウェア回収 280kg ●2018 大会での小型家電リサイクル金メダル (全国初) 制作に向け、(独)京都市産業技術研究所及び(株)アステック入江と連携協定を締結 ●給水・給食の残物品をフードバンクへ提供 ●リユースごみ箱 (437 個) を活用
(イ) 東日本大震災復興支援	<ul style="list-style-type: none"> ・「復興支援枠」(参加料無料) を設定

	<p>→226人が参加</p> <ul style="list-style-type: none"> ・復興支援メッセージをランナーゼッケンに印字 ○熊本地震被災地も加え義援金を募集 <ul style="list-style-type: none"> →合計 13,348,794 円 ・震災復興写真展や東北物産・飲食屋台を出展 ○被災三県の大会との連携によるランナー派遣・交流促進 <ul style="list-style-type: none"> (仙台国際ハーフマラソン (宮城県 継続) に加え、一関国際ハーフマラソン (岩手県 新規)、会津若松市鶴ヶ城ハーフマラソン (福島県 新規))
イ ランナーサービス	
(ア)エントリー (申込み) 等	<ul style="list-style-type: none"> ●連続落選者枠 (500人)、サブ3.5・サブ4 応援枠 (500人) を新設 <ul style="list-style-type: none"> →前枠には 3,369人、後枠には 2,602人が応募 ●駅伝発祥 100年を記念して、ペア駅伝定員を倍増 (100組から 200組)、うち同一区民同士のペアを対象とした市民枠 (地域の絆・つながり枠) を新設 (50組 100人)。 <ul style="list-style-type: none"> →115組 230人が応募 ○マラソンの京都市民枠を増員 (1,000人から 1,100人) <ul style="list-style-type: none"> →7,063人が応募 ○ふるさと納税枠 (京都市スポーツ振興サポートランナー) については、定員 (マラソン 480人、ペア駅伝 10組 20人) を初めて充足 (前回 422人)
(イ)多言語対応	<ul style="list-style-type: none"> ○西京極陸上競技場フルカラーLED スコアボードを活用した多言語での案内・アナウンスに新たに手話を追加 ・主要な案内看板を英語に加え、繁体字・簡体字でも表記 ○全国 7 外国語大学と連携した学生の参加 (278人) 等による語学ボランティアの拡充 <ul style="list-style-type: none"> →550人 (前回 301人)
(ウ)フィニッシュ後	<ul style="list-style-type: none"> ・フィニッシュ会場で足湯・マッサージ・みそ汁を提供 ・完走証の当日交付、「完走者新聞」(有料)、「お風呂屋さんマップ」を配布 ●帰りの時間に合わせ、地下鉄京都市役所前駅止まり (西行き) の便を太秦天神川駅まで延伸運行し、東山駅から地下鉄烏丸線や JR 線への接続を円滑化
(エ)京都ならではの おもてなし	<ul style="list-style-type: none"> ●駅伝発祥 100年、西陣織発祥 550年を記念して、ペア駅伝のタスキ、フィニッシュテープを西陣織で製作 ・コース周辺の観光名所案内サインを設置、給食で生八ツ橋を提供、フィニッシュ後に舞妓さんと写真撮影 (有料)
ウ 応援、大会の盛り上げ	
(ア)市民ぐるみの盛り上げ	<ul style="list-style-type: none"> ・市民しんぶん (1/15 区版) で各区のペア駅伝ランナーを紹介

	<p>介・応援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・沿道盛り上げ隊（15 箇所、50 団体）、市内商店街による沿道応援（21 商店街）を実施 ●京都産業大学学生による「沿道応援スタンプラリー」を実施 →8,700 人の参加 ●フィニッシュ会場に地元店等による応援者向けの飲食ブースを設置
(イ)おこしやす広場	<ul style="list-style-type: none"> ・京の名店・地元店等による飲食ブース、裏千家によるお茶席など京都ならではのおもてなしを実施 ・「伝統産業ふれあい館」職人による実演・体験を実施 ○オフィシャルグッズとして「鳩居堂」「SOU・SOU」とのコラボ商品（便箋、お香、Tシャツ）を製作
(ウ)応援大使	<ul style="list-style-type: none"> ○新たに青木愛氏（元シンクロナイズドスイミング日本代表）を任命（全 14 人） ・京都大学 iPS 細胞研究所の山中所長など 5 名が出走

III. 調査研究の概要

1. 調査目的

本調査は、(京都マラソン2017)参加ランナーを対象として、ランニング活動、イベント満足度・評価、マラソン参加、ランニング関与、個人属性などについて調査することにより、今後の大会運営の改善を図るとともに、スポーツ参加者の行動様式を明らかにすることを目的としている。

2. 調査内容

(1) 個人属性

性別と年代、職業、世帯所得、最終学歴

(2) ランニング活動

フルマラソン完走タイム、フルマラソン完走回数、京都マラソンの参加経験、1年間のランニング大会の出場回数、ランニング歴、月間平均走行頻度、月間平均走行距離、ランニングクラブへの所属

(3) イベント満足度・評価

大会全体、スタート、コース、フィニッシュ、スタート会場の衣類回収、走りにくいところ、走りにくい理由、河川敷について、おつかれさま広場の利用、フィニッシュ会場からの帰りルート、フィニッシュ会場から最初の交通手段、京都マラソン参加賞の希望、よかったと思う給食メニュー、京都マラソン2017の点数、京都マラソン2018の参加意欲

(4) 大会参加について

京都マラソン会場までの交通手段、自宅から会場までの所要時間、宿泊の有無、宿泊した場所、同伴者数、性別・年代別の情報入手ルート、性別・年代別の参加理由、京都マラソンのボランティア経験

(5) 京都について

京都のイメージ、京都への愛着、京都への思い

3. 調査対象

京都マラソン2017のマラソン及びベア駅伝の出走者(日本人)14,600人

4. 調査期間

平成29年2月21日～3月12日

5. 調査方法

インターネット調査：京都マラソン2017公式サイトや参加案内パンフレットで告知するとともに、参加ランナーへのメール連絡において調査実施の案内を行った。承諾したランナーがリンク先の「京都マラソン2017ランナー調査」ウェブサイトにて回答を行った。

6. 回収結果

有効標本数：2,794票(回収率：19.1%)

7. 調査研究の分析枠組み

本調査研究は、ランナー全体、性別、年代別によって類型化した京都マラソン参加者の行動様式を明らかにすることを目的としており、その研究成果を大会運営のための基礎資料として役立てることを目指している。

本調査研究の分析枠組みでは、ランナー全体の行動様式を分析するために単純集計を行うとともに、イベント満足度・評価などの項目においてクロス集計を行うために独立変数(説明変数)として性別、年代別と居住地別(京都市内・市外)を設定した。従属変数(被説明変数)には、行動様式として、ランニング活動、イベント満足度・評価、マラソン参加、京都に関する意識を取り上げた。

IV. 調査研究の分析

1. 個人属性

1-1) 性別と年代

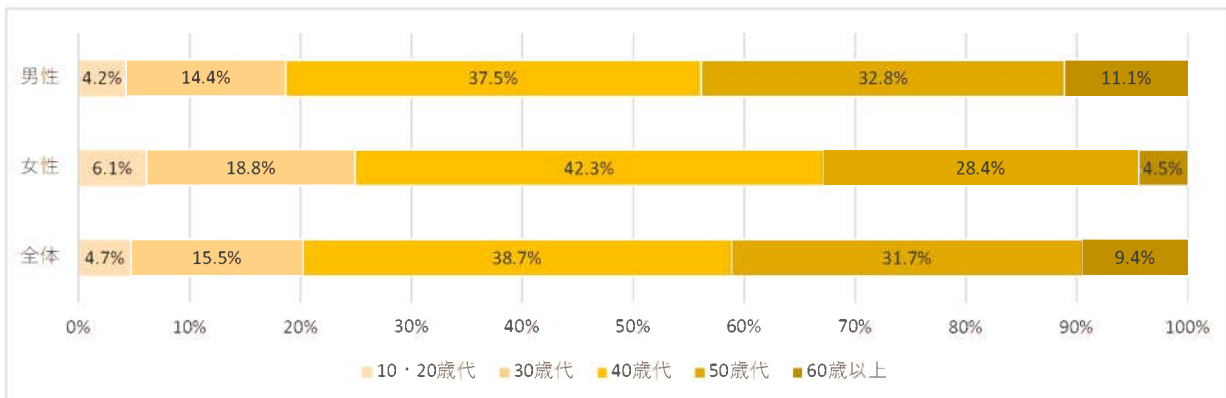
京都マラソン2017ランナーの個人属性をみていくと、性別では、男女比が3：1、年代は男女ともに40歳代が最も多く、次いで50歳代、30歳代となっており、40歳代と50歳代のランナーで全体の7割以上を占めている。

職業では、会社員・公務員が75.3%で最も多かった。世帯所得では、回答者の5人に1人が1,000万円以上で、特に1,000万円以上2,000万円未満という回答が最も多い。最終学歴では、大学・大学院卒業または在学中が最も多く、回答者の約65%であった。

図表1. 性別と年代

N=2,794、n=2,794

		10・20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳以上	合計	
性別	男性	度数	89	303	788	690	233	2,103
		パーセント	4.2%	14.4%	37.5%	32.8%	11.1%	100%
	女性	度数	42	130	292	196	31	691
		パーセント	6.1%	18.8%	42.3%	28.4%	4.5%	100%
全体	度数	131	433	1,080	886	264	2,794	
	パーセント	4.7%	15.5%	38.7%	31.7%	9.4%	100%	

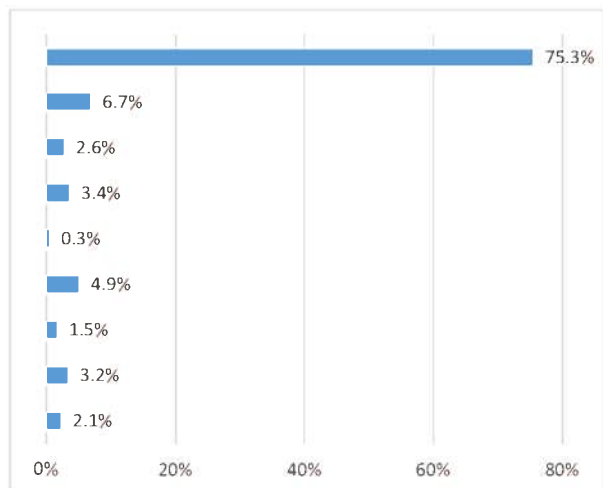


1-2) 職業

図表2. 職業

N=2,794、n=2,788

	度数	パーセント
会社員・公務員	2,099	75.3%
自営業	187	6.7%
主婦	72	2.6%
会社役員	95	3.4%
農林漁業	9	0.3%
パート・アルバイト	136	4.9%
学生	42	1.5%
無職	90	3.2%
その他	58	2.1%
合計	2,788	100%

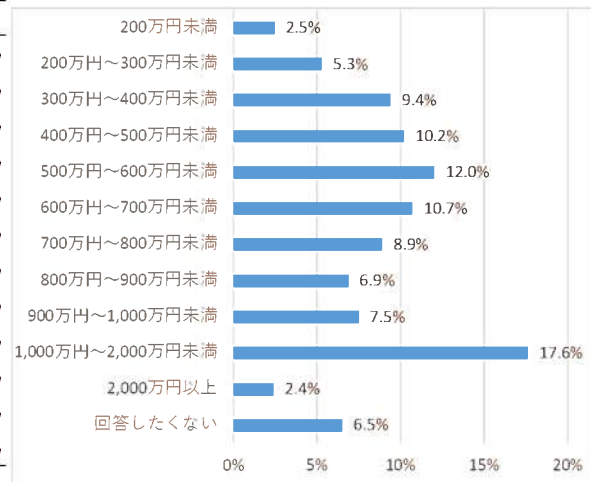


1-3) 世帯所得

図表3. 世帯所得

N=2,794、n=2,785

	度数	パーセント
200万円未満	71	2.5%
200万円～300万円未満	148	5.3%
300万円～400万円未満	262	9.4%
400万円～500万円未満	285	10.2%
500万円～600万円未満	334	12.0%
600万円～700万円未満	297	10.7%
700万円～800万円未満	248	8.9%
800万円～900万円未満	192	6.9%
900万円～1,000万円未満	210	7.5%
1,000万円～2,000万円未満	490	17.6%
2,000万円以上	67	2.4%
回答したくない	181	6.5%
合計	2,785	100%

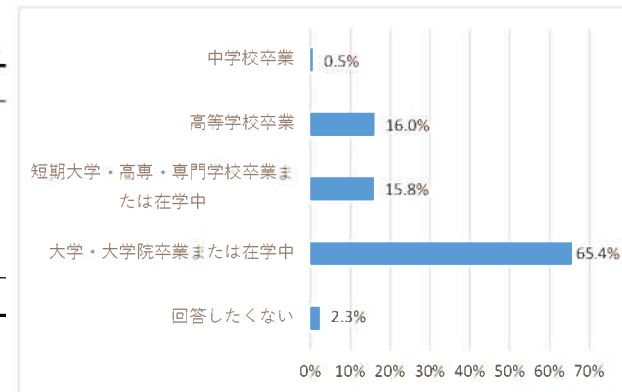


1-4) 最終学歴

図表4. 最終学歴

N=2,794、n=2,781

	度数	パーセント
中学校卒業	14	0.5%
高等学校卒業	446	16.0%
短期大学・高専・専門学校卒業または在学中	439	15.8%
大学・大学院卒業または在学中	1,819	65.4%
回答したくない	63	2.3%
合計	2,781	100%



2. ランニング活動

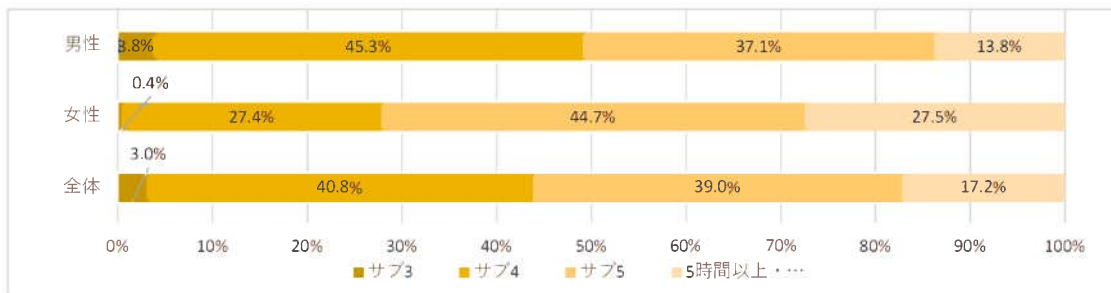
京都マラソン2017ランナーのランニング活動についてみていくと、フルマラソン完走タイムでは、サブ4・サブ5のランナーが全体の約8割を占めた。フルマラソンの完走回数では、10回以上完走したことのあるランナーが全体の32.8%であった。京都マラソンの参加経験については、回答者のうち約半数のランナーが京都マラソン2016大会にも参加経験があった。1年間のランニング大会の出場回数、ランニング歴、月間走行頻度、月間走行距離では、ほとんどの項目で年代が上がるごとにランニング活動が活発になる傾向がみられた。ランニングクラブについては、回答者の13.3%が所属している。

2-1) フルマラソン完走タイム<自己ベスト> (京都マラソン2017含む)

図表5. フルマラソン完走タイム

N=2,794、n=2,794

		サブ3	サブ4	サブ5	5時間以上・ 完走経験なし	合計	
性別	男性	度数	80	952	780	291	2,103
		パーセント	3.8%	45.3%	37.1%	13.8%	100%
	女性	度数	3	189	309	190	691
		パーセント	0.4%	27.4%	44.7%	27.5%	100%
	全体	度数	83	1,141	1,089	481	2,794
		パーセント	3.0%	40.8%	39.0%	17.2%	100%

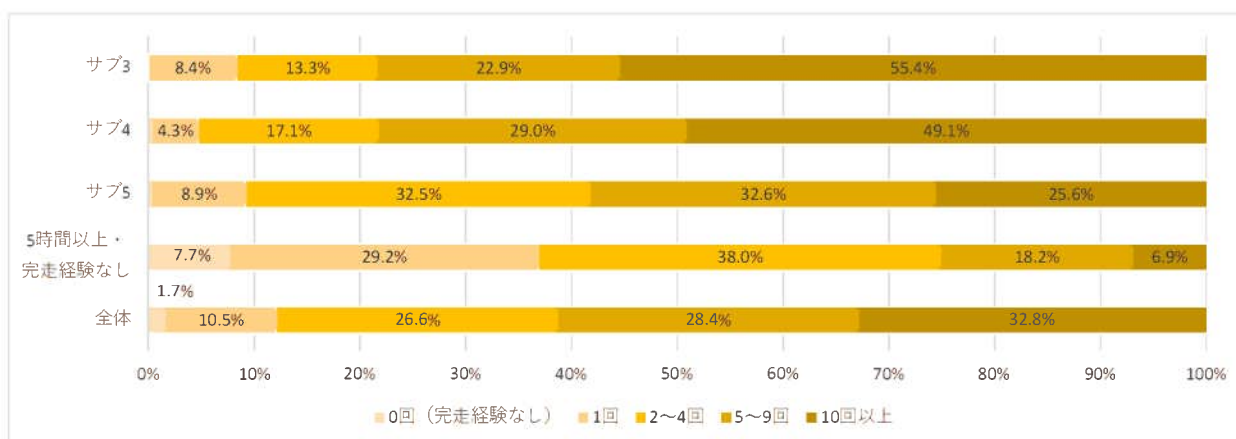


2-2) フルマラソン完走回数

図表6. フルマラソン完走回数

N=2,794、n=2,786

		0回（完走 経験なし）	1回	2～4回	5～9回	10回以上	合計	
ランナー タイプ	サブ3	度数	0	7	11	19	46	83
		パーセント	0.0%	8.4%	13.3%	22.9%	55.4%	100%
	サブ4	度数	5	49	194	330	558	1,136
		パーセント	0.4%	4.3%	17.1%	29.0%	49.1%	100%
	サブ5	度数	4	97	354	355	278	1,088
		パーセント	0.4%	8.9%	32.5%	32.6%	25.6%	100%
	5時間以上・ 完走経験なし	度数	37	140	182	87	33	479
		パーセント	7.7%	29.2%	38.0%	18.2%	6.9%	100%
	全体	度数	46	293	741	791	915	2,786
		パーセント	1.7%	10.5%	26.6%	28.4%	32.8%	100%

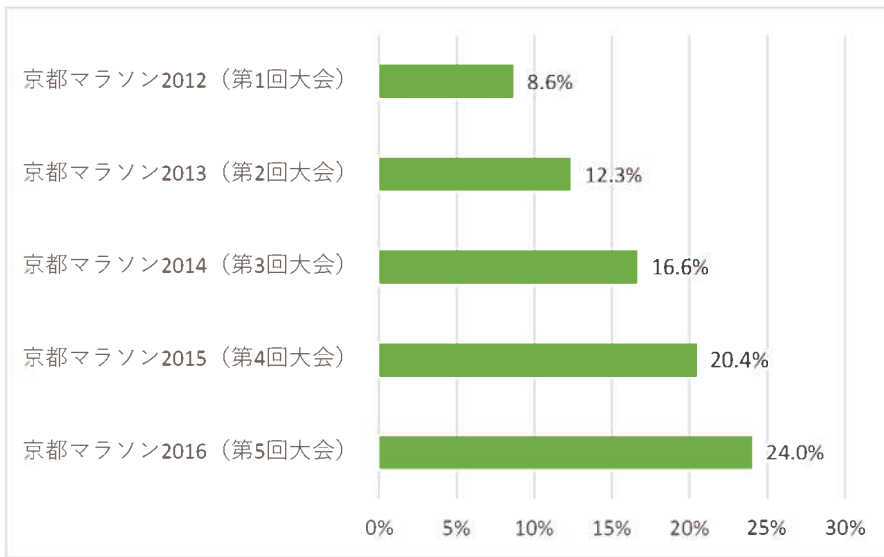


2-3) 京都マラソンの参加経験

図表7. 京都マラソンの参加経験

N=2,794、n=2,794

	応答数	パーセント
京都マラソン2012（第1回大会）	239	8.6%
京都マラソン2013（第2回大会）	343	12.3%
京都マラソン2014（第3回大会）	464	16.6%
京都マラソン2015（第4回大会）	571	20.4%
京都マラソン2016（第5回大会）	671	24.0%



2-4) 1年間のランニング大会の出場回数

図表8. 1年間のランニング大会の出場回数

N=2,794、n=2,787

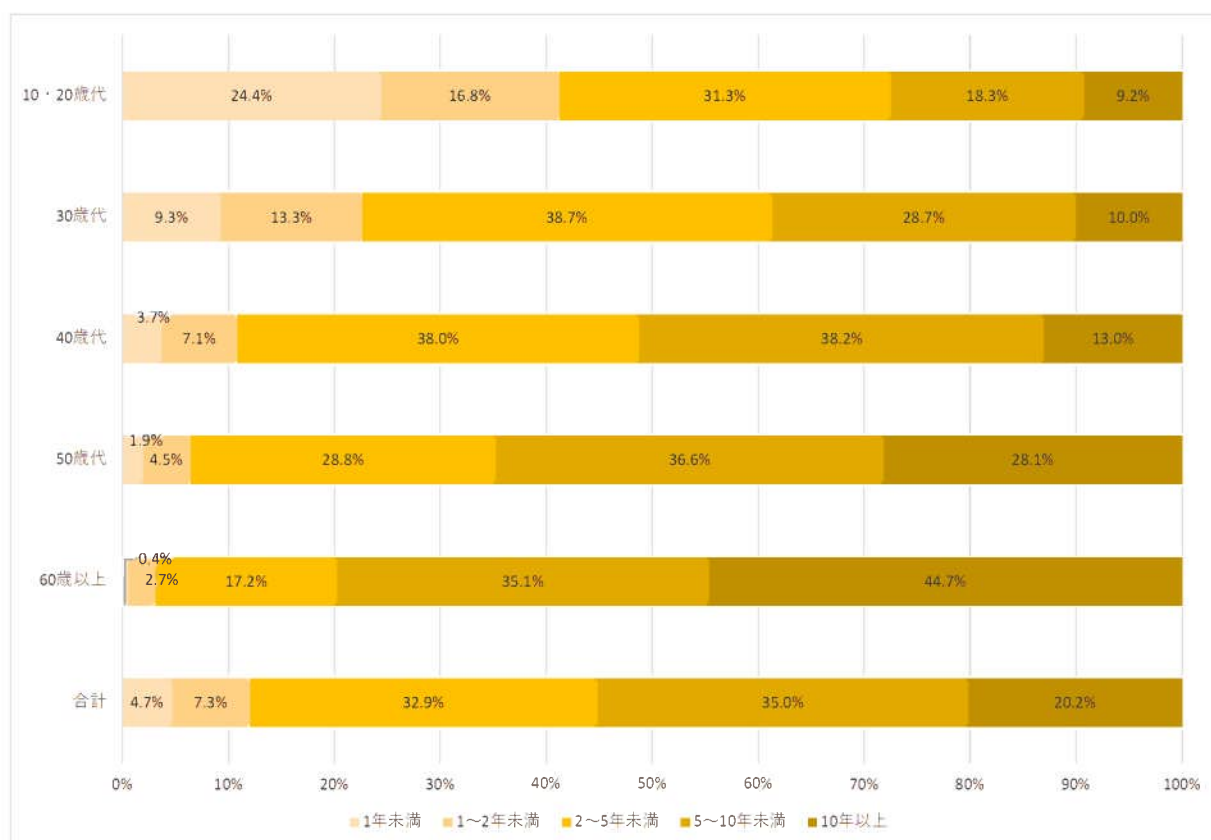
		出場なし	1回	2~4回	5~9回	10回以上	合計	
年代	10・20歳代	度数	37	26	34	23	11	131
		パーセント	28.2%	19.8%	26.0%	17.6%	8.4%	100%
	30歳代	度数	62	54	158	105	51	430
		パーセント	14.4%	12.6%	36.7%	24.4%	11.9%	100%
	40歳代	度数	88	104	421	329	136	1,078
		パーセント	8.2%	9.6%	39.1%	30.5%	12.6%	100%
	50歳代	度数	42	66	350	265	161	884
		パーセント	4.8%	7.5%	39.6%	30.0%	18.2%	100%
	60歳以上	度数	12	18	86	96	52	264
		パーセント	4.5%	6.8%	32.6%	36.4%	19.7%	100%
合計		度数	241	268	1,049	818	411	2,787
		パーセント	8.6%	9.6%	37.6%	29.4%	14.7%	100%



図表9. ランニング歴

N=2,794、n=2,782

		1年未満	1~2年未満	2~5年未満	5~10年未満	10年以上	合計	
年代	10・20歳代	度数	32	22	41	24	12	131
		パーセント	24.4%	16.8%	31.3%	18.3%	9.2%	100%
	30歳代	度数	40	57	166	123	43	429
		パーセント	9.3%	13.3%	38.7%	28.7%	10.0%	100%
	40歳代	度数	40	76	408	411	140	1,075
		パーセント	3.7%	7.1%	38.0%	38.2%	13.0%	100%
	50歳代	度数	17	40	255	324	249	885
		パーセント	1.9%	4.5%	28.8%	36.6%	28.1%	100%
	60歳以上	度数	1	7	45	92	117	262
		パーセント	0.4%	2.7%	17.2%	35.1%	44.7%	100%
合計	度数	130	202	915	974	561	2,782	
	パーセント	4.7%	7.3%	32.9%	35.0%	20.2%	100%	

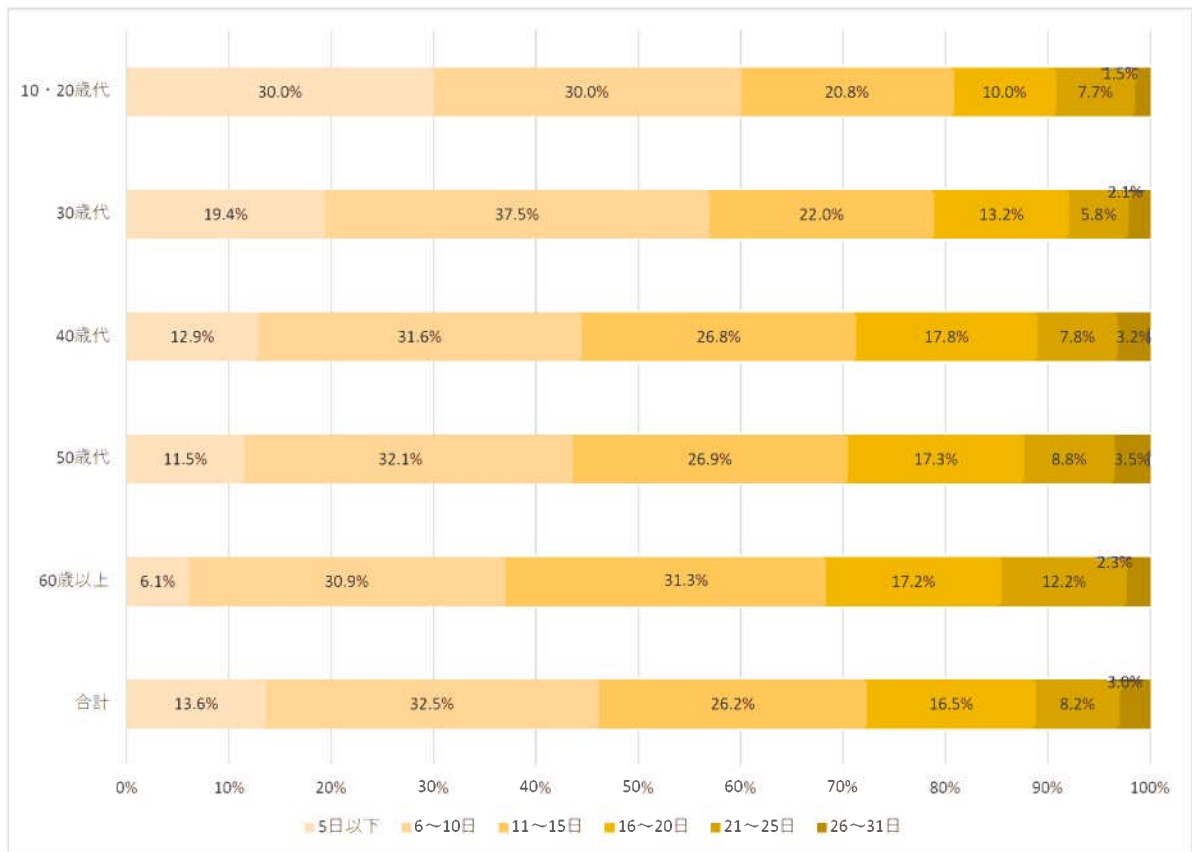


2-6) 月間平均走行頻度 (1ヶ月あたりに走る日数)

図表10. 月間平均走行頻度

N=2,794, n=2,790

		5日以下	6~10日	11~15日	16~20日	21~25日	26~31日	合計	
年代	10・20歳代	度数	39	39	27	13	10	2	130
		パーセント	30.0%	30.0%	20.8%	10.0%	7.7%	1.5%	100%
30歳代	度数	84	162	95	57	25	9	432	
	パーセント	19.4%	37.5%	22.0%	13.2%	5.8%	2.1%	100%	
40歳代	度数	139	341	289	192	84	35	1,080	
	パーセント	12.9%	31.6%	26.8%	17.8%	7.8%	3.2%	100%	
50歳代	度数	102	284	238	153	78	31	886	
	パーセント	11.5%	32.1%	26.9%	17.3%	8.8%	3.5%	100%	
60歳以上	度数	16	81	82	45	32	6	262	
	パーセント	6.1%	30.9%	31.3%	17.2%	12.2%	2.3%	100%	
合計	度数	380	907	731	460	229	83	2,790	
	パーセント	13.6%	32.5%	26.2%	16.5%	8.2%	3.0%	100%	



2-7) 月間平均走行距離 (1ヶ月あたりに走る距離)

図表11. 月間平均走行距離

N=2,794、n=2,787

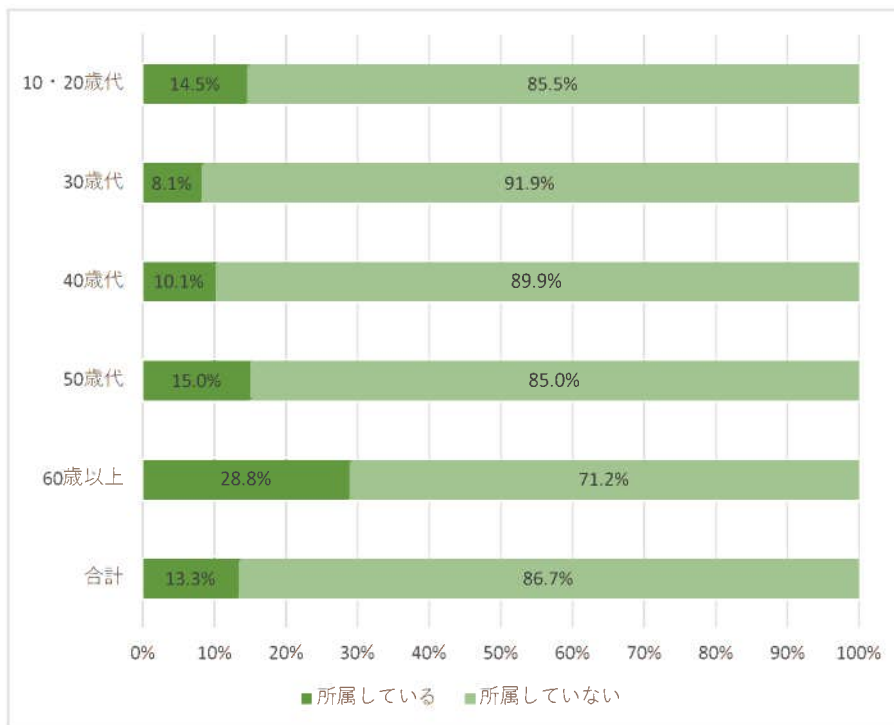
		0~50km	51~100km	101~150km	151km以上	合計	
年代	10・20歳代	度数	55	36	14	26	131
		パーセント	42.0%	27.5%	10.7%	19.8%	100%
30歳代	度数	110	164	79	79	432	
	パーセント	25.5%	38.0%	18.3%	18.3%	100%	
40歳代	度数	162	363	273	279	1,077	
	パーセント	15.0%	33.7%	25.3%	25.9%	100%	
50歳代	度数	108	265	262	248	883	
	パーセント	12.2%	30.0%	29.7%	28.1%	100%	
60歳以上	度数	17	84	85	78	264	
	パーセント	6.4%	31.8%	32.2%	29.5%	100%	
合計	度数	452	912	713	710	2,787	
	パーセント	16.2%	32.7%	25.6%	25.5%	100%	



2-8) ランニングクラブへの所属

N=2,794、n=2,790

		所属している	所属していない	合計	
年代	10・20歳代	度数	19	112	131
		パーセント	14.5%	85.5%	100%
	30歳代	度数	35	397	432
		パーセント	8.1%	91.9%	100%
	40歳代	度数	109	969	1,078
		パーセント	10.1%	89.9%	100%
	50歳代	度数	133	752	885
		パーセント	15.0%	85.0%	100%
	60歳以上	度数	76	188	264
		パーセント	28.8%	71.2%	100%
合計		度数	372	2,418	2,790
		パーセント	13.3%	86.7%	100%



3. イベント満足度・評価

大会の満足度と評価についてみていくと、大会満足度では、スタッフ・ボランティアの対応、ランナーへの応援・励まし・エールについて、95%以上のランナーが満足したと回答したほか、大会ホームページ、参加案内パンフレットのわかりやすさなどで高い評価となっている。その一方で、大会参加料、コース全体の走りやすさなどで不満と回答したランナーが多く、特に宿泊施設に関しては、30%以上のランナーが不満と回答している。

スタートの満足度では、スタートブロックでの防寒着の着用が高い評価となる一方、トイレの数に約3割のランナーが不満と回答した。コースの満足度では、給水、沿道の応援、沿道盛り上げ隊で9割以上のランナーが満足しているのに対し、コース幅、折り返し、河川敷で不満と回答するランナーが3割以上であった。フィニッシュの満足度では、全項目において満足の回答が半数を超え、特に当日完走証、フィニッシャータオルなどで9割以上のランナーが満足したと回答している。

スタート会場の衣類回収では、利用したランナーは42%であったが、次回利用したいと回答したランナーは70%である。走りにくいところについては、スタート直後と鴨川河川敷が挙げられ、その理由としては、追い抜くのが困難という回答が多かった。また、河川敷については、土で走りやすかったという回答と凹凸や水たまりで走りにくかったという回答がほぼ同数となり、意見が分かれた。

おつかれさま広場を利用したランナーは約4割であった。フィニッシュからの帰路については、半数のランナーが東側待ちわせ広場を経由するとともに、約4割のランナーが地下鉄東山駅を利用している。

参加賞の希望については、BUFFを希望するランナーが約45%であった。給食メニューのうち、良かったと思うメニューは、バナナと生八ツ橋が最も人気があり、いちご、みかんも人気があった。

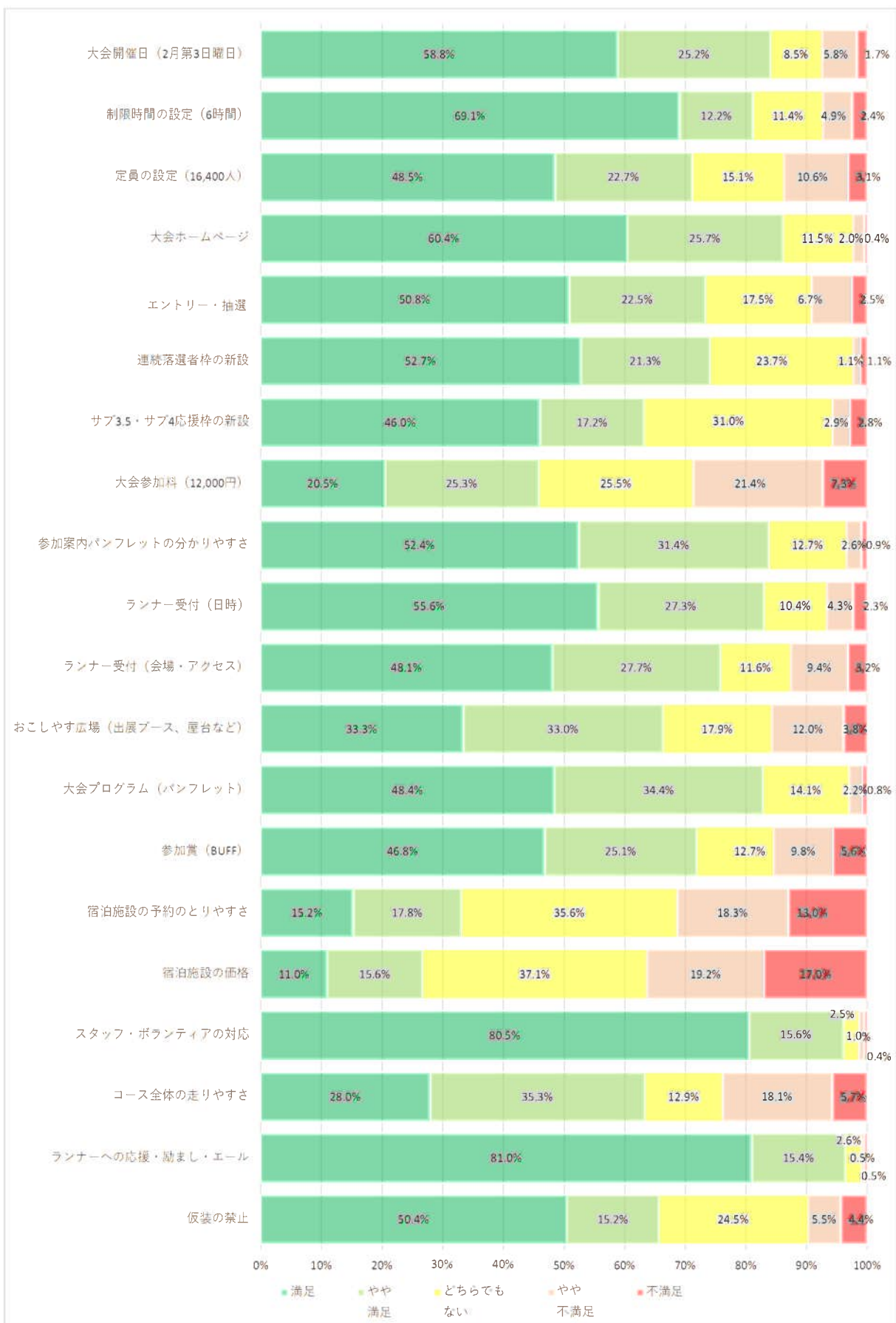
京都マラソンの総合的な評価は、100点満点中87点が平均点となった（2016大会：88.6点、2015大会：86.7点、2014大会：84.4点）。回答したランナーの94.2%が次回大会にも参加したいと答えている。

3-1 大会満足度1 (大会全体)

図表13. 大会満足度1

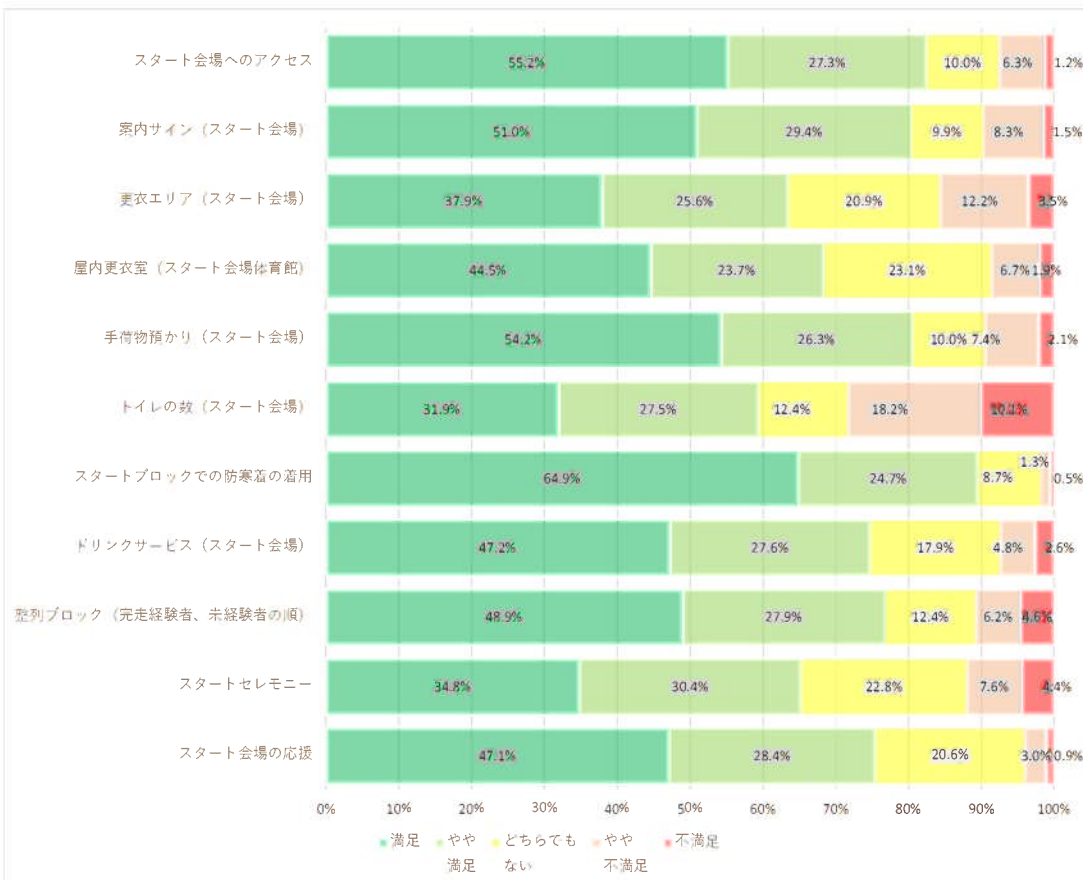
N=2,794、n=2,777

		満足	やや満足	どちらでもない	やや不満足	不満足	合計	平均得点 (5点満点)
大会開催日 (2月第3日曜日)	度数	1,640	702	238	161	46	2,787	4.34
	パーセント	58.8%	25.2%	8.5%	5.8%	1.7%	100%	
制限時間の設定 (6時間)	度数	1,891	333	312	135	67	2,738	4.40
	パーセント	69.1%	12.2%	11.4%	4.9%	2.4%	100%	
定員の設定 (16,400人)	度数	1,345	630	420	294	87	2,776	4.03
	パーセント	48.5%	22.7%	15.1%	10.6%	3.1%	100%	
大会ホームページ	度数	1,666	710	316	54	12	2,758	4.44
	パーセント	60.4%	25.7%	11.5%	2.0%	0.4%	100%	
エントリー・抽選	度数	1,406	622	484	185	70	2,767	4.12
	パーセント	50.8%	22.5%	17.5%	6.7%	2.5%	100%	
連続落選者枠の新設	度数	1,300	526	583	28	28	2,465	4.23
	パーセント	52.7%	21.3%	23.7%	1.1%	1.1%	100%	
サブ3.5・サブ4応援枠の新設	度数	1,131	424	761	72	70	2,458	4.01
	パーセント	46.0%	17.2%	31.0%	2.9%	2.8%	100%	
大会参加料 (12,000円)	度数	565	698	703	591	200	2,757	3.30
	パーセント	20.5%	25.3%	25.5%	21.4%	7.3%	100%	
参加案内パンフレットの分かりやすさ	度数	1,446	868	352	71	25	2,762	4.32
	パーセント	52.4%	31.4%	12.7%	2.6%	0.9%	100%	
ランナー受付 (日時)	度数	1,544	759	290	119	65	2,777	4.30
	パーセント	55.6%	27.3%	10.4%	4.3%	2.3%	100%	
ランナー受付 (会場・アクセス)	度数	1,335	770	323	260	89	2,777	4.08
	パーセント	48.1%	27.7%	11.6%	9.4%	3.2%	100%	
おこしやす広場 (出展ブース、屋台など)	度数	915	906	490	328	105	2,744	3.80
	パーセント	33.3%	33.0%	17.9%	12.0%	3.8%	100%	
大会プログラム (パンフレット)	度数	1,335	948	390	61	23	2,757	4.27
	パーセント	48.4%	34.4%	14.1%	2.2%	0.8%	100%	
参加賞 (BUFF)	度数	1,294	694	350	271	156	2,765	3.98
	パーセント	46.8%	25.1%	12.7%	9.8%	5.6%	100%	
宿泊施設の予約のとりやすさ	度数	234	274	547	281	200	1,536	3.04
	パーセント	15.2%	17.8%	35.6%	18.3%	13.0%	100%	
宿泊施設の価格	度数	168	239	567	294	260	1,528	2.84
	パーセント	11.0%	15.6%	37.1%	19.2%	17.0%	100%	
スタッフ・ボランティアの対応	度数	2,233	433	69	27	12	2,774	4.75
	パーセント	80.5%	15.6%	2.5%	1.0%	0.4%	100%	
コース全体の走りやすさ	度数	776	981	357	503	159	2,776	3.62
	パーセント	28.0%	35.3%	12.9%	18.1%	5.7%	100%	
ランナーへの応援・励まし・エール	度数	2,252	428	73	15	13	2,781	4.76
	パーセント	81.0%	15.4%	2.6%	0.5%	0.5%	100%	
仮装の禁止	度数	1,368	413	665	148	118	2,712	4.02
	パーセント	50.4%	15.2%	24.5%	5.5%	4.4%	100%	



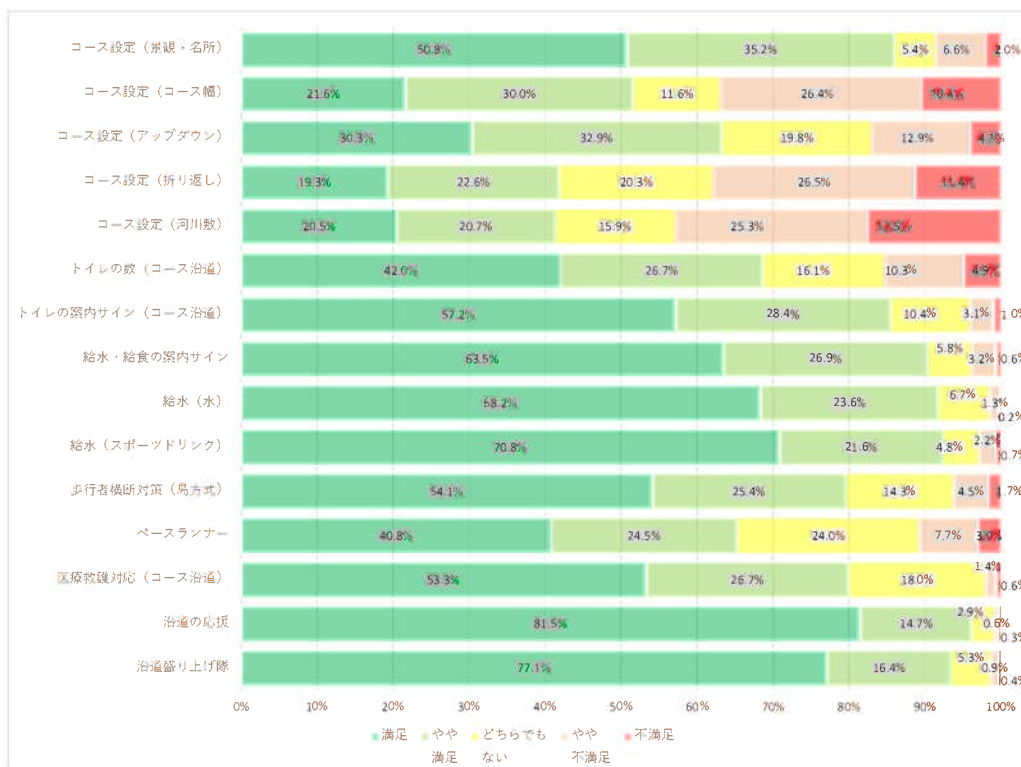
図表14. 大会満足度2

		満足	やや満足	どちらでもない	やや不満足	不満足	合計	平均得点 (5点満点)
スタート会場へのアクセス	度数	1,535	758	279	175	34	2,781	4.29
	パーセント	55.2%	27.3%	10.0%	6.3%	1.2%	100%	
案内サイン (スタート会場)	度数	1,419	818	275	230	41	2,783	4.20
	パーセント	51.0%	29.4%	9.9%	8.3%	1.5%	100%	
更衣エリア (スタート会場)	度数	820	553	452	264	75	2,164	3.82
	パーセント	37.9%	25.6%	20.9%	12.2%	3.5%	100%	
屋内更衣室 (スタート会場体育館)	度数	777	414	403	117	34	1,745	4.02
	パーセント	44.5%	23.7%	23.1%	6.7%	1.9%	100%	
手荷物預かり (スタート会場)	度数	1,488	723	275	202	57	2,745	4.23
	パーセント	54.2%	26.3%	10.0%	7.4%	2.1%	100%	
トイレの数 (スタート会場)	度数	854	737	331	487	270	2,679	3.53
	パーセント	31.9%	27.5%	12.4%	18.2%	10.1%	100%	
スタートブロックでの防寒着の着用	度数	1,601	609	215	31	12	2,468	4.52
	パーセント	64.9%	24.7%	8.7%	1.3%	0.5%	100%	
ドリンクサービス (スタート会場)	度数	938	549	356	95	51	1,989	4.12
	パーセント	47.2%	27.6%	17.9%	4.8%	2.6%	100%	
整列ブロック (完走経験者、未経験者の順)	度数	1,350	769	343	171	126	2,759	4.10
	パーセント	48.9%	27.9%	12.4%	6.2%	4.6%	100%	
スタートセレモニー	度数	954	834	625	207	121	2,741	3.84
	パーセント	34.8%	30.4%	22.8%	7.6%	4.4%	100%	
スタート会場の応援	度数	1,300	783	568	84	26	2,761	4.18
	パーセント	47.1%	28.4%	20.6%	3.0%	0.9%	100%	



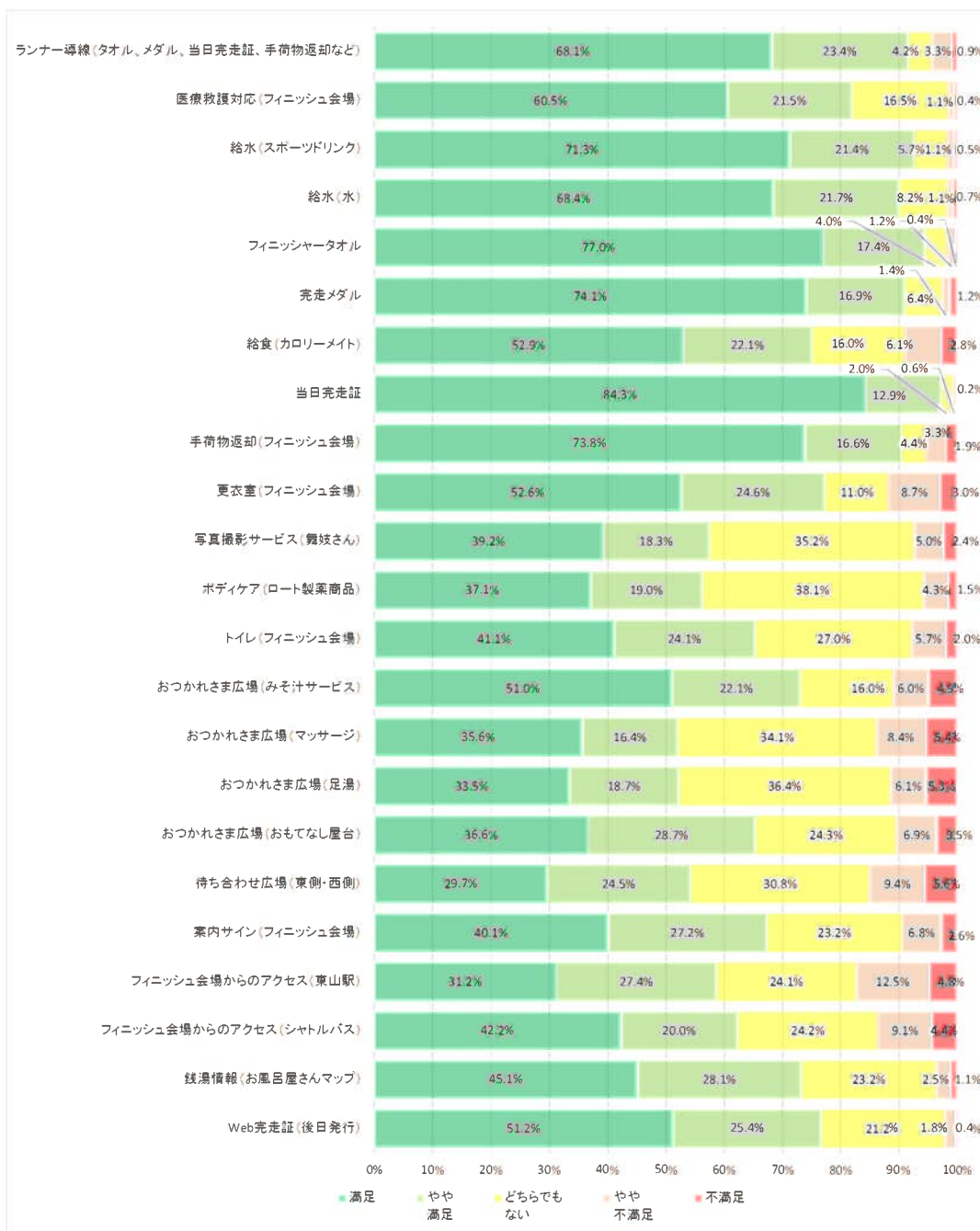
図表15. 大会満足度3

		満足	やや満足	どちらでもない	やや不満足	不満足	合計	平均得点 (5点満点)
コース設定 (景観・名所)	度数	1,414	982	150	184	56	2,786	4.26
	パーセント	50.8%	35.2%	5.4%	6.6%	2.0%	100%	
コース設定 (コース幅)	度数	601	833	321	734	290	2,779	3.26
	パーセント	21.6%	30.0%	11.6%	26.4%	10.4%	100%	
コース設定 (アップダウン)	度数	844	915	552	358	113	2,782	3.73
	パーセント	30.3%	32.9%	19.8%	12.9%	4.1%	100%	
コース設定 (折り返し)	度数	536	626	562	735	315	2,774	3.12
	パーセント	19.3%	22.6%	20.3%	26.5%	11.4%	100%	
コース設定 (河川敷)	度数	565	571	438	697	482	2,753	3.01
	パーセント	20.5%	20.7%	15.9%	25.3%	17.5%	100%	
トイレの数 (コース沿道)	度数	954	605	365	234	112	2,270	3.91
	パーセント	42.0%	26.7%	16.1%	10.3%	4.9%	100%	
トイレの案内サイン (コース沿道)	度数	1,442	717	262	78	24	2,523	4.38
	パーセント	57.2%	28.4%	10.4%	3.1%	1.0%	100%	
給水・給食の案内サイン	度数	1,763	748	161	88	18	2,778	4.49
	パーセント	63.5%	26.9%	5.8%	3.2%	0.6%	100%	
給水 (水)	度数	1,882	650	186	35	5	2,758	4.58
	パーセント	68.2%	23.6%	6.7%	1.3%	0.2%	100%	
給水 (スポーツドリンク)	度数	1,950	594	131	60	20	2,755	4.59
	パーセント	70.8%	21.6%	4.8%	2.2%	0.7%	100%	
歩行者横断対策 (島方式)	度数	1,491	700	395	123	47	2,756	4.26
	パーセント	54.1%	25.4%	14.3%	4.5%	1.7%	100%	
ペースランナー	度数	869	523	511	164	65	2,132	3.92
	パーセント	40.8%	24.5%	24.0%	7.7%	3.0%	100%	
医療救護対応 (コース沿道)	度数	1,011	507	342	26	12	1,898	4.31
	パーセント	53.3%	26.7%	18.0%	1.4%	0.6%	100%	
沿道の応援	度数	2,266	410	82	17	7	2,782	4.77
	パーセント	81.5%	14.7%	2.9%	0.6%	0.3%	100%	
沿道盛り上げ隊	度数	2,142	455	146	25	11	2,779	4.69
	パーセント	77.1%	16.4%	5.3%	0.9%	0.4%	100%	



図表16. 大会満足度4

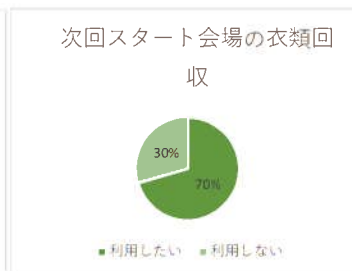
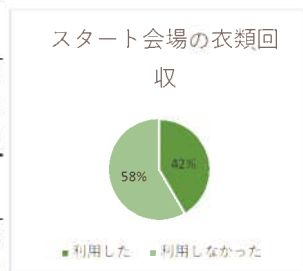
		満足	やや満足	どちらでもない	やや不満足	不満足	合計	平均得点 (5点満点)
ランナー導線 (タオル、メダル、 当日完走証、手荷物返却など)	度数	1,876	645	116	91	26	2,754	4.54
	パーセント	68.1%	23.4%	4.2%	3.3%	0.9%	100%	
医療救護対応 (フィニッシュ会場)	度数	1,009	358	276	18	7	1,668	4.41
	パーセント	60.5%	21.5%	16.5%	1.1%	0.4%	100%	
給水 (スポーツドリンク)	度数	1,937	581	156	31	13	2,718	4.62
	パーセント	71.3%	21.4%	5.7%	1.1%	0.5%	100%	
給水 (水)	度数	1,753	555	210	27	17	2,562	4.56
	パーセント	68.4%	21.7%	8.2%	1.1%	0.7%	100%	
フィニッシャータオル	度数	2,100	474	110	34	10	2,728	4.69
	パーセント	77.0%	17.4%	4.0%	1.2%	0.4%	100%	
完走メダル	度数	2,019	459	175	37	34	2,724	4.61
	パーセント	74.1%	16.9%	6.4%	1.4%	1.2%	100%	
給食 (カロリーメイト)	度数	1,441	603	437	167	75	2,723	4.16
	パーセント	52.9%	22.1%	16.0%	6.1%	2.8%	100%	
当日完走証	度数	2,282	350	55	15	6	2,708	4.80
	パーセント	84.3%	12.9%	2.0%	0.6%	0.2%	100%	
手荷物返却 (フィニッシュ会場)	度数	2,023	454	120	91	53	2,741	4.57
	パーセント	73.8%	16.6%	4.4%	3.3%	1.9%	100%	
更衣室 (フィニッシュ会場)	度数	1,331	623	279	220	76	2,529	4.15
	パーセント	52.6%	24.6%	11.0%	8.7%	3.0%	100%	
写真撮影サービス (舞妓さん)	度数	481	225	432	61	29	1,228	3.87
	パーセント	39.2%	18.3%	35.2%	5.0%	2.4%	100%	
ボディケア (ロート製薬商品)	度数	435	223	446	50	18	1,172	3.86
	パーセント	37.1%	19.0%	38.1%	4.3%	1.5%	100%	
トイレ (フィニッシュ会場)	度数	774	454	508	107	38	1,881	3.97
	パーセント	41.1%	24.1%	27.0%	5.7%	2.0%	100%	
おつかれさま広場 (みそ汁サービス)	度数	847	367	265	99	82	1,660	4.08
	パーセント	51.0%	22.1%	16.0%	6.0%	4.9%	100%	
おつかれさま広場 (マッサージ)	度数	382	176	366	90	58	1,072	3.68
	パーセント	35.6%	16.4%	34.1%	8.4%	5.4%	100%	
おつかれさま広場 (足湯)	度数	334	186	363	61	53	997	3.69
	パーセント	33.5%	18.7%	36.4%	6.1%	5.3%	100%	
おつかれさま広場 (おもてなし屋 台)	度数	538	421	357	101	51	1,468	3.88
	パーセント	36.6%	28.7%	24.3%	6.9%	3.5%	100%	
待ち合わせ広場 (東側・西側)	度数	483	399	502	153	91	1,628	3.63
	パーセント	29.7%	24.5%	30.8%	9.4%	5.6%	100%	
案内サイン (フィニッシュ会場)	度数	1,031	700	598	176	68	2,573	3.95
	パーセント	40.1%	27.2%	23.2%	6.8%	2.6%	100%	
フィニッシュ会場からのアクセス (東山駅)	度数	628	552	484	251	97	2,012	3.68
	パーセント	31.2%	27.4%	24.1%	12.5%	4.8%	100%	
フィニッシュ会場からのアクセス	度数	584	277	335	126	61	1,383	3.87
	パーセント	42.2%	20.0%	24.2%	9.1%	4.4%	100%	
銭湯情報 (お風呂屋さんマップ)	度数	723	450	371	40	18	1,602	4.14
	パーセント	45.1%	28.1%	23.2%	2.5%	1.1%	100%	
Web完走証 (後日発行)	度数	1,054	522	437	37	8	2,058	4.25
	パーセント	51.2%	25.4%	21.2%	1.8%	0.4%	100%	



3-5) スタート会場の衣類回収について

図表17. スタート会場の衣類回収について

スタート会場の衣類回収		
	度数	パーセント
利用した	1,158	41.6%
利用しなかった	1,628	58.4%
合計	2,786	100%
次回スタート会場の衣類回収		
	度数	パーセント
利用したい	1,960	70.5%
利用しない	819	29.5%
合計	2,779	100%

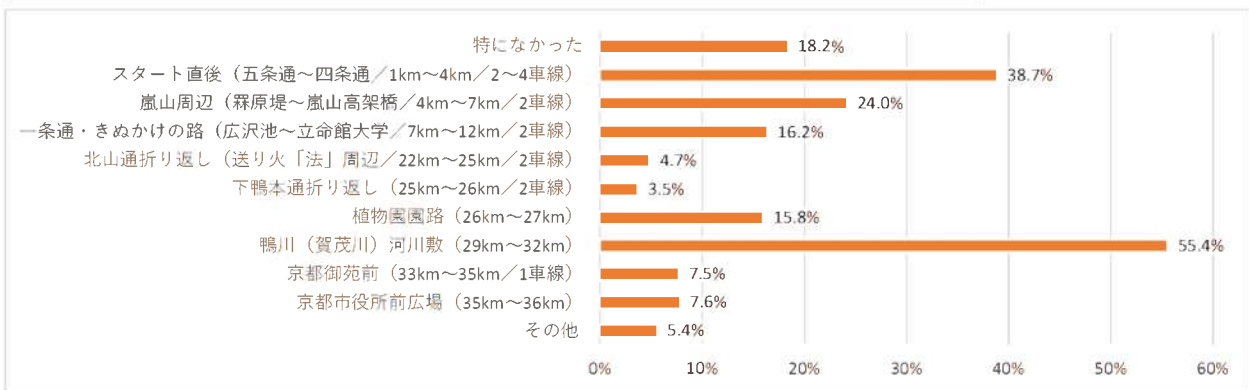


3-6) 走りにくいところ

図表18. 走りにくいところ

N=2,794, n=2,771

	応答数	パーセント
特になかった	504	18.2%
スタート直後 (五条通～四条通/1km～4km/2～4車線)	1,071	38.7%
嵐山周辺 (森原堤～嵐山高架橋/4km～7km/2車線)	666	24.0%
一条通・きぬかけの路 (広沢池～立命館大学/7km～12km/2車線)	449	16.2%
北山通折り返し (送り火「法」周辺/22km～25km/2車線)	131	4.7%
下鴨本通折り返し (25km～26km/2車線)	96	3.5%
植物園園路 (26km～27km)	437	15.8%
鴨川 (賀茂川) 河川敷 (29km～32km)	1,536	55.4%
京都御苑前 (33km～35km/1車線)	209	7.5%
京都市役所前広場 (35km～36km)	211	7.6%
その他	151	5.4%

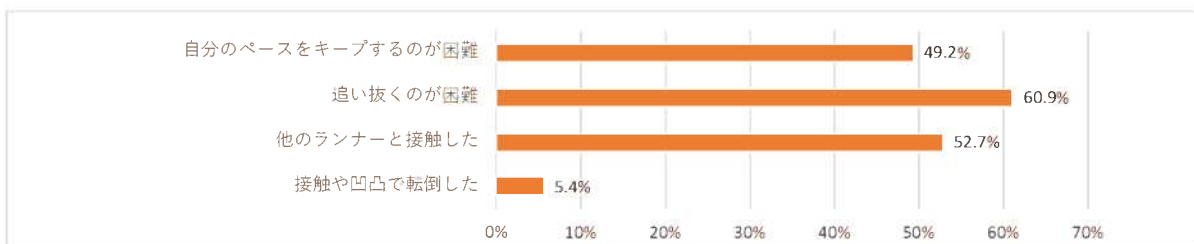


3-7) 走りにくい理由

図表19. 走りにくい理由

N=2,794, n=2,300

	応答数	パーセント
自分のペースをキープするのが困難	1,131	49.2%
追い抜くのが困難	1,401	60.9%
他のランナーと接触した	1,211	52.7%
接触や凹凸で転倒した	124	5.4%

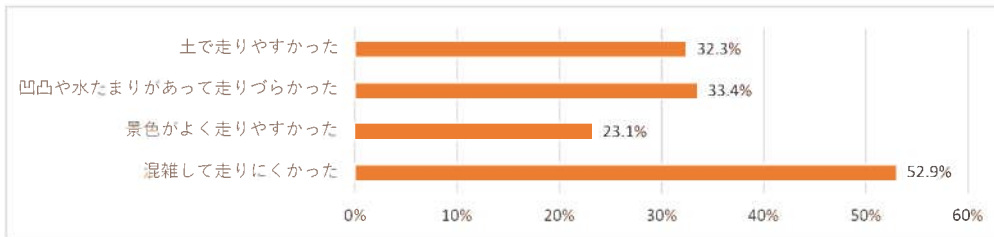


3-8) 河川敷について

図表20. 河川敷について

N=2,794、n=2,662

	応答数	パーセント
土で走りやすかった	860	32.3%
凹凸や水たまりがあって走りづらかった	889	33.4%
景色がよく走りやすかった	616	23.1%
混雑して走りにくかった	1,409	52.9%

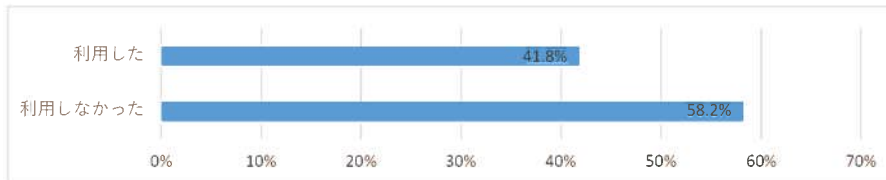


3-9) おつかれさま広場の利用

図表21. おつかれさま広場の利用

N=2,794、n=2,788

	度数	パーセント
利用した	1,164	41.8%
利用しなかった	1,624	58.2%
合計	2,788	100.0%

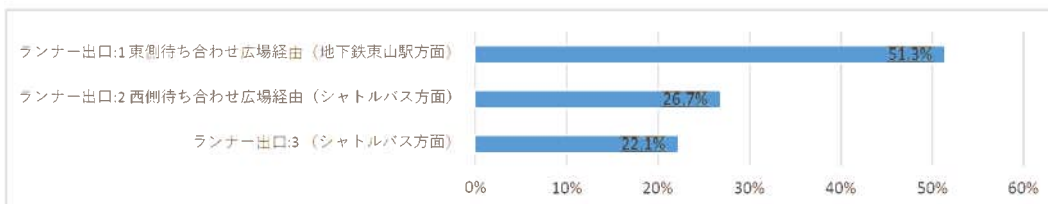


3-10) フィニッシュ会場からの帰りルート

図表22. フィニッシュ会場からの帰りルート

N=2,794、n=2,739

	度数	パーセント
ランナー出口:1 東側待ち合わせ広場経由 (地下鉄東山駅方面)	1,405	51.3%
ランナー出口:2 西側待ち合わせ広場経由 (シャトルバス方面)	730	26.7%
ランナー出口:3 (シャトルバス方面)	604	22.1%
合計	2,739	100.0%

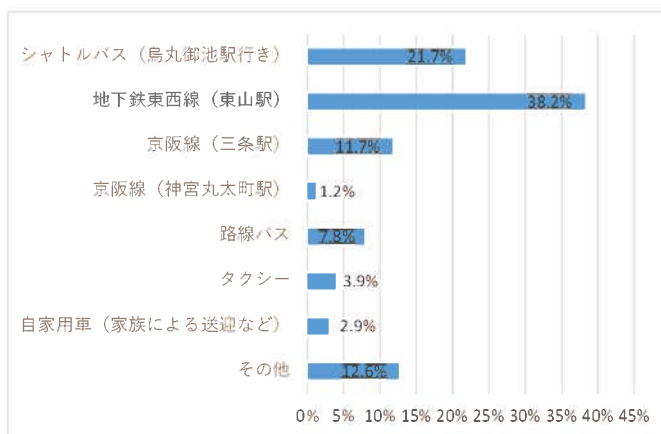


3-11) フィニッシュからの最初の交通手段

図表23. フィニッシュからの最初の交通手段

N=2,794, n=2,746

	度数	パーセント
シャトルバス（烏丸御池駅行き）	596	21.7%
地下鉄東西線（東山駅）	1,050	38.2%
京阪線（三条駅）	321	11.7%
京阪線（神宮丸太町駅）	32	1.2%
路線バス	215	7.8%
タクシー	106	3.9%
自家用車（家族による送迎など）	79	2.9%
その他	347	12.6%
合計	2,746	100.0%

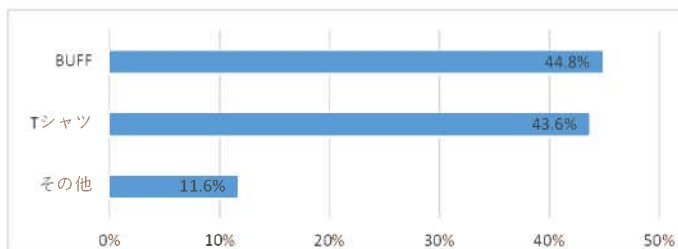


3-12) 参加賞の希望

図表24. 参加賞の希望

N=2,794, n=2,765

	度数	パーセント
BUFF	1,239	44.8%
Tシャツ	1,206	43.6%
その他	320	11.6%
合計	2,765	100.0%

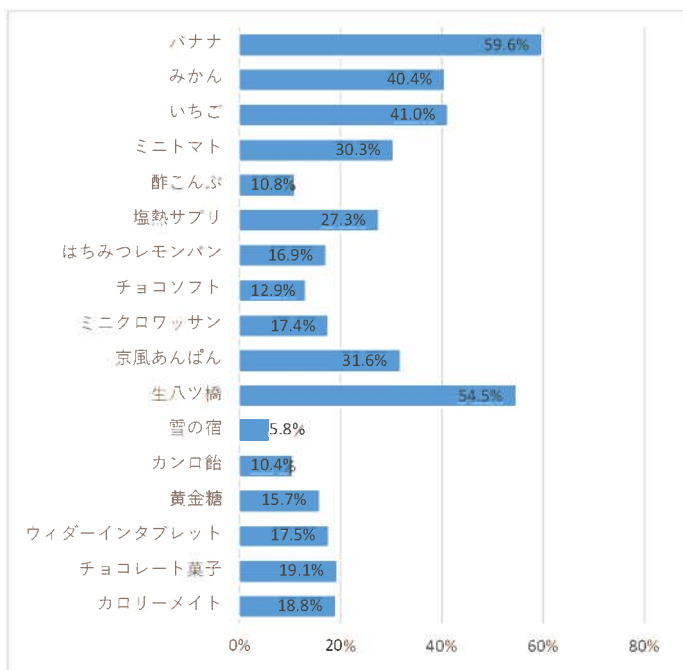


3-13) よかったと思う給食メニュー

図表25. よかったと思う給食メニュー

N=2,794, n=2,680

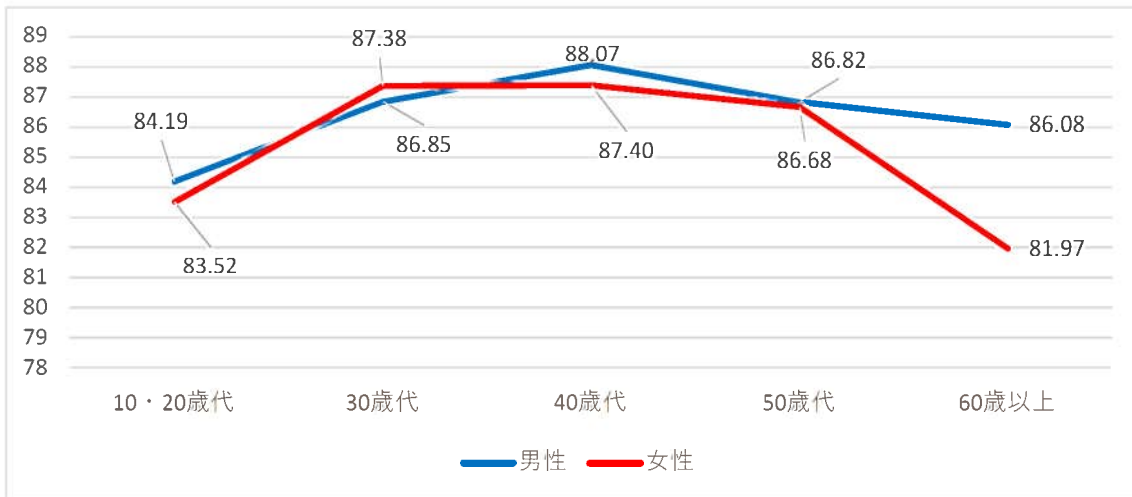
	応答数	パーセント
バナナ	1,598	59.6%
みかん	1,084	40.4%
いちご	1,098	41.0%
ミニトマト	812	30.3%
酢こんぶ	290	10.8%
塩熱サプリ	732	27.3%
はちみつレモンパン	454	16.9%
チョコソフト	345	12.9%
ミニクワッサン	467	17.4%
京風あんぱん	847	31.6%
生八ツ橋	1,460	54.5%
雪の宿	155	5.8%
カンロ飴	280	10.4%
黄金糖	422	15.7%
ウィダーインタブレット	468	17.5%
チョコレート菓子	512	19.1%
カロリーメイト	504	18.8%



3-14) 京都マラソン2017の点数 (100点満点)

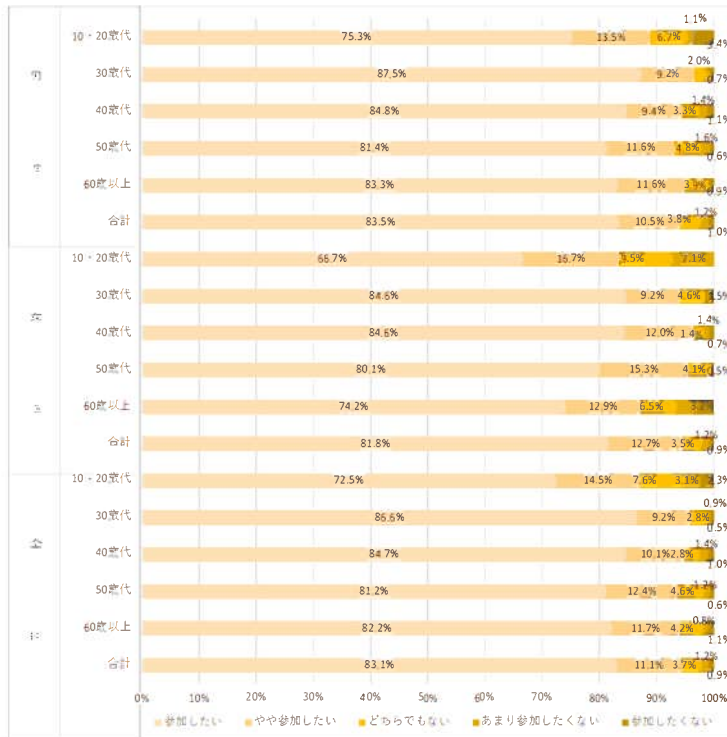
図表26. 京都マラソン2017の点数

	10・20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳以上	全体
男性	84.19	86.85	88.07	86.82	86.08	87.10
女性	83.52	87.38	87.40	86.68	81.97	86.71
合計	83.98	87.01	87.89	86.79	85.60	87.00



図表27. 京都マラソン2018への参加意欲

	性別	年代	参加したい	やや参加したい		どちらでもない		あまり参加したくない		合計
				参加したい	やや参加したい	どちらでもない	あまり参加したくない	参加したくない		
男性	10・20歳代	人数	67	12	6	1	3	89		
		パーセント	75.3%	13.5%	6.7%	1.1%	3.4%	100%		
	30歳代	人数	265	28	6	2	2	303		
		パーセント	87.5%	9.2%	2.0%	0.7%	0.7%	100%		
	40歳代	人数	668	74	26	11	9	788		
		パーセント	84.8%	9.4%	3.3%	1.4%	1.1%	100%		
	50歳代	人数	562	80	33	11	4	690		
		パーセント	81.4%	11.6%	4.8%	1.6%	0.6%	100%		
	60歳以上	人数	194	27	9	1	2	233		
		パーセント	83.3%	11.6%	3.9%	0.4%	0.9%	100%		
	合計		人数	1,756	221	80	26	20	2,103	
			パーセント	83.5%	10.5%	3.8%	1.2%	1.0%	100%	
女性	10・20歳代	人数	28	7	4	3	0	42		
		パーセント	66.7%	16.7%	9.5%	7.1%	0.0%	100%		
	30歳代	人数	110	12	6	0	2	130		
		パーセント	84.6%	9.2%	4.6%	0.0%	1.5%	100%		
	40歳代	人数	247	35	4	4	2	292		
		パーセント	84.6%	12.0%	1.4%	1.4%	0.7%	100%		
	50歳代	人数	157	30	8	0	1	196		
		パーセント	80.1%	15.3%	4.1%	0.0%	0.5%	100%		
	60歳以上	人数	23	4	2	1	1	31		
		パーセント	74.2%	12.9%	6.5%	3.2%	3.2%	100%		
	合計		人数	565	88	24	8	6	691	
			パーセント	81.8%	12.7%	3.5%	1.2%	0.9%	100%	
全体	10・20歳代	人数	95	19	10	4	3	131		
		パーセント	72.5%	14.5%	7.6%	3.1%	2.3%	100%		
	30歳代	人数	375	40	12	2	4	433		
		パーセント	86.6%	9.2%	2.8%	0.5%	0.9%	100%		
	40歳代	人数	915	109	30	15	11	1,080		
		パーセント	84.7%	10.1%	2.8%	1.4%	1.0%	100%		
	50歳代	人数	719	110	41	11	5	886		
		パーセント	81.2%	12.4%	4.6%	1.2%	0.6%	100%		
	60歳以上	人数	217	31	11	2	3	264		
		パーセント	82.2%	11.7%	4.2%	0.8%	1.1%	100%		
	合計		人数	2,321	309	104	34	26	2,794	
			パーセント	83.1%	11.1%	3.7%	1.2%	0.9%	100%	



4. 大会参加について

京都マラソン会場までの交通手段については、電車を利用するランナーが7割で最も多かった。自宅から会場までの所要時間では、完走タイムが速いほど所要時間が長くなる傾向がある。

日帰りと宿泊した参加者が半々の割合であり、市外参加者のうち83.5%が宿泊した。同伴者数については、同伴者がなく1人で参加するランナーが半数以上となっている。情報入手ルートについては、ランナーの8割がウェブサイトを利用していると回答している。書籍・雑誌、ウェブサイトでは男性の方が利用する割合が高いのに対し、友人・知人・家族、SNSでは女性の方が利用する割合が高い。

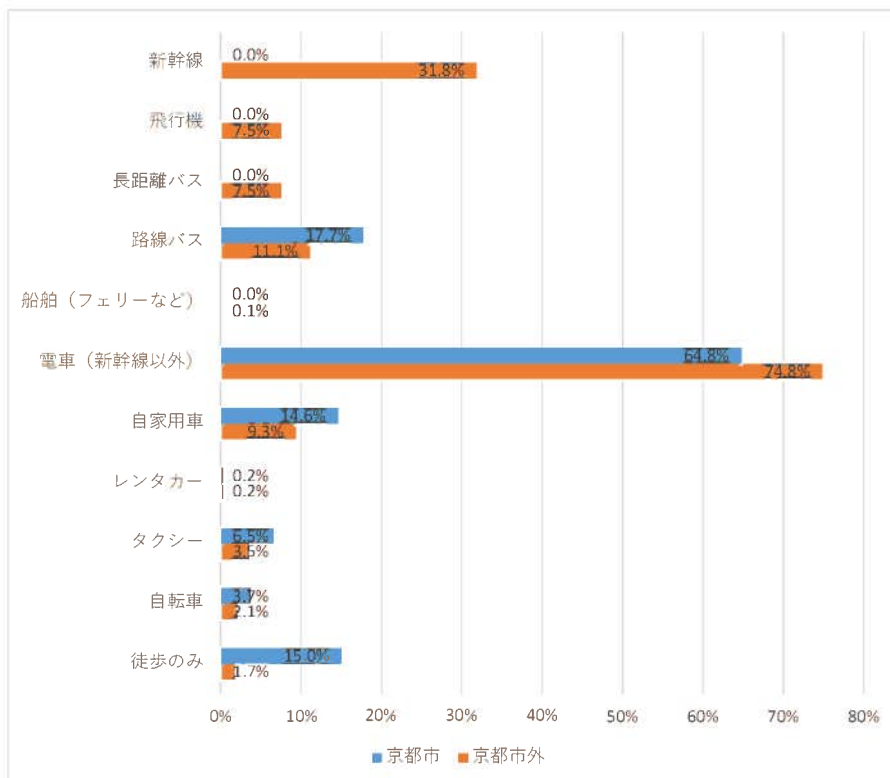
参加理由で最も多い回答は観光名所を走ることができるからである。女性は男性よりも観光名所を走ることを参加理由としているに比べ、男性は女性よりも都市型市民マラソンだからを参加理由としている。

京都マラソンのボランティア経験のある回答者は全体の5.2%と約20人に1人という結果となった。

4-1) 京都マラソン会場までの交通手段

図表28. 京都マラソン会場までの交通手段

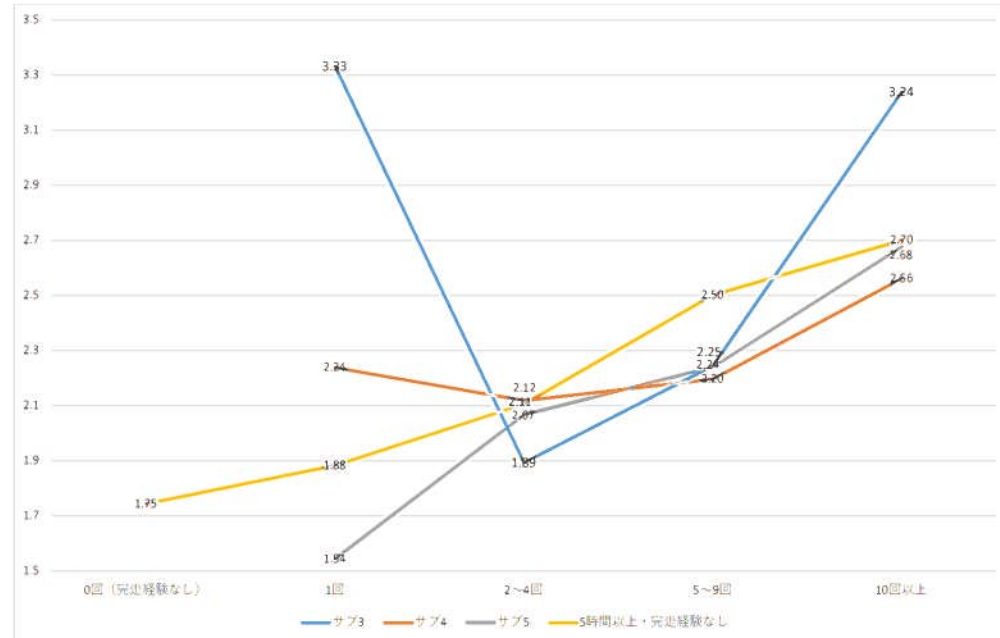
		居住地		合計
		京都市	京都市外	
新幹線	度数	0	725	725
	パーセント	0.0%	31.8%	26.0%
飛行機	度数	0	171	171
	パーセント	0.0%	7.5%	6.2%
長距離バス	度数	0	172	172
	パーセント	0.0%	7.5%	6.2%
路線バス	度数	90	253	343
	パーセント	17.7%	11.1%	12.3%
船舶（フェリーなど）	度数	0	3	3
	パーセント	0.0%	0.1%	0.1%
電車（新幹線以外）	度数	329	1,706	2,035
	パーセント	64.8%	74.8%	72.9%
自家用車	度数	74	212	286
	パーセント	14.6%	9.3%	10.3%
レンタカー	度数	1	4	5
	パーセント	0.2%	0.2%	0.2%
タクシー	度数	33	81	114
	パーセント	6.5%	3.5%	4.1%
自転車	度数	19	49	68
	パーセント	3.7%	2.1%	2.4%
徒歩のみ	度数	76	38	114
	パーセント	15.0%	1.7%	4.1%
合計（応答者数）		508	2,282	2,790



4-2) 自宅から会場までの所要時間

図表29. 自宅から会場までの所要時間(時間)

	0回(完走経験なし)	1回	2~4回	5~9回	10回以上	ランナータイプ別
サブ3		3.33	1.89	2.25	3.24	2.84
サブ4		2.24	2.12	2.20	2.56	2.36
サブ5		1.54	2.07	2.24	2.68	2.24
5時間以上・完走経験なし	1.75	1.88	2.11	2.50	2.70	2.13
完走回数別	1.74	1.87	2.09	2.25	2.64	2.29

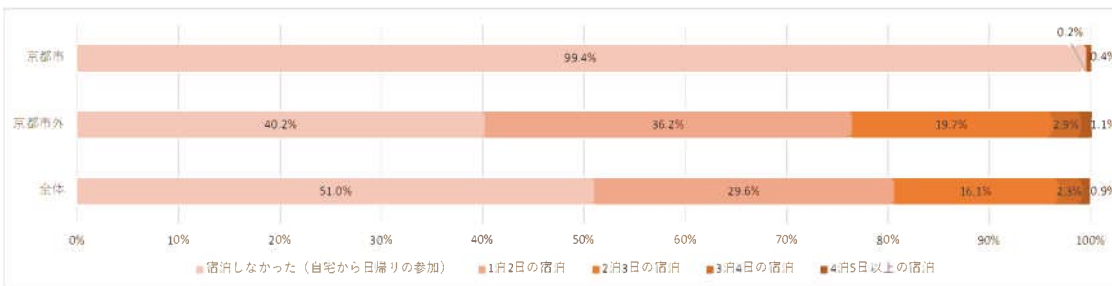


4-3) 宿泊の有無

図表30. 宿泊の有無

N=2,794, n=2,787

	宿泊しなかった (自宅から日帰りの参加)	1泊2日の宿泊	2泊3日の宿泊	3泊4日の宿泊	4泊5日以上の宿泊	合計
京都市	度数: 504 パーセント: 99.4%	1	0	0	2	507
京都市外	度数: 916 パーセント: 40.2%	825	450	65	24	2,280
全体	度数: 1,420 パーセント: 51.0%	826	450	65	26	2,787

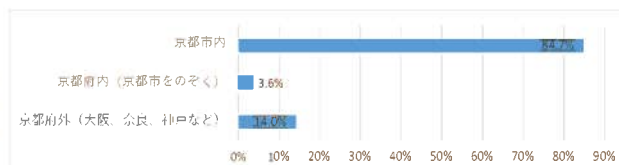


4-4) 宿泊した場所

図表31. 宿泊した場所

N=2,794, n=1,612

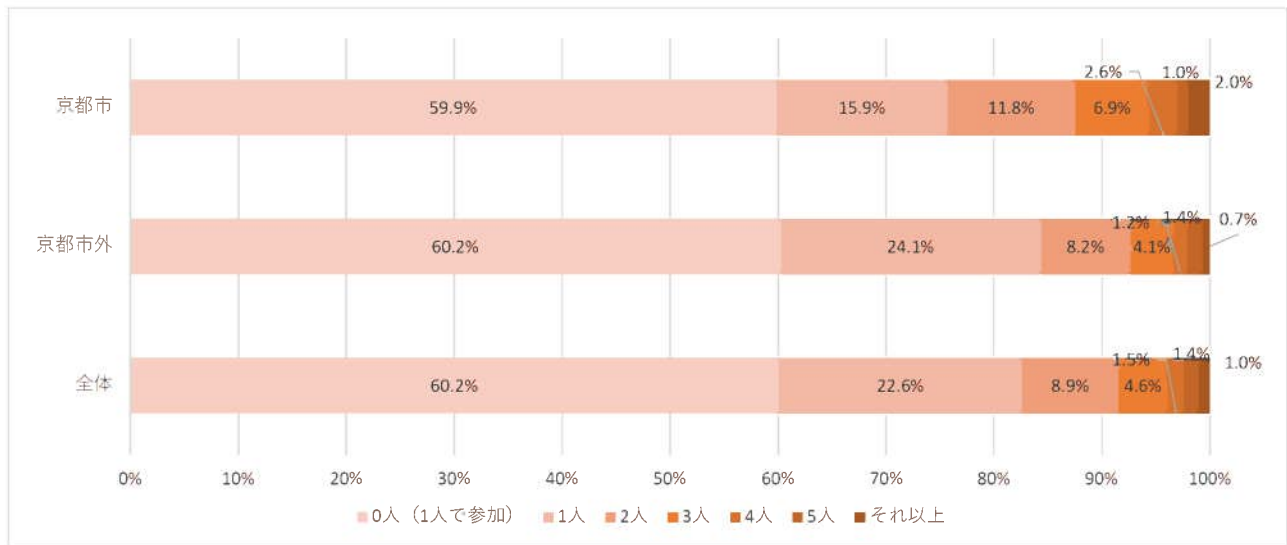
	応答数	パーセント
京都市内	1,366	84.7%
京都府内(京都市をのぞく)	58	3.6%
京都府外(大阪、奈良、神戸など)	225	14.0%



4-5) 同伴者数及び傾向

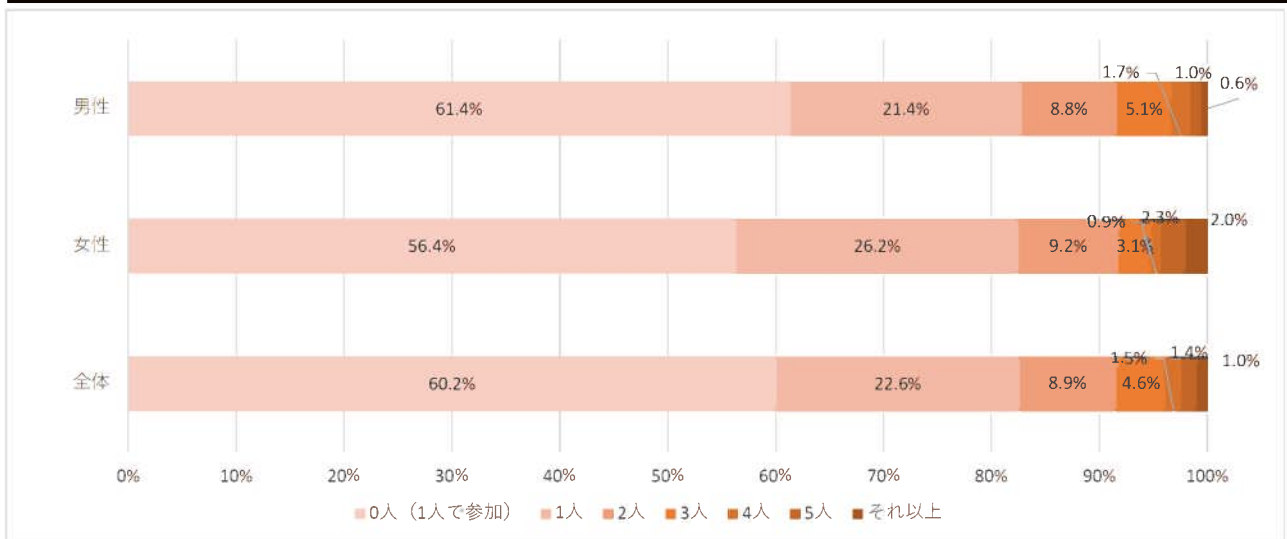
図表32 1. 同伴者数のうち市内・市外の傾向

		0人 (1人で参加)	1人	2人	3人	4人	5人	それ以上	合計
京都市	度数	305	81	60	35	13	5	10	509
	パーセント	59.9%	15.9%	11.8%	6.9%	2.6%	1.0%	2.0%	100%
京都市外	度数	1,373	549	187	93	28	33	17	2,280
	パーセント	60.2%	24.1%	8.2%	4.1%	1.2%	1.4%	0.7%	100%
全体	度数	1,678	630	247	128	41	38	27	2,789
	パーセント	60.2%	22.6%	8.9%	4.6%	1.5%	1.4%	1.0%	100%



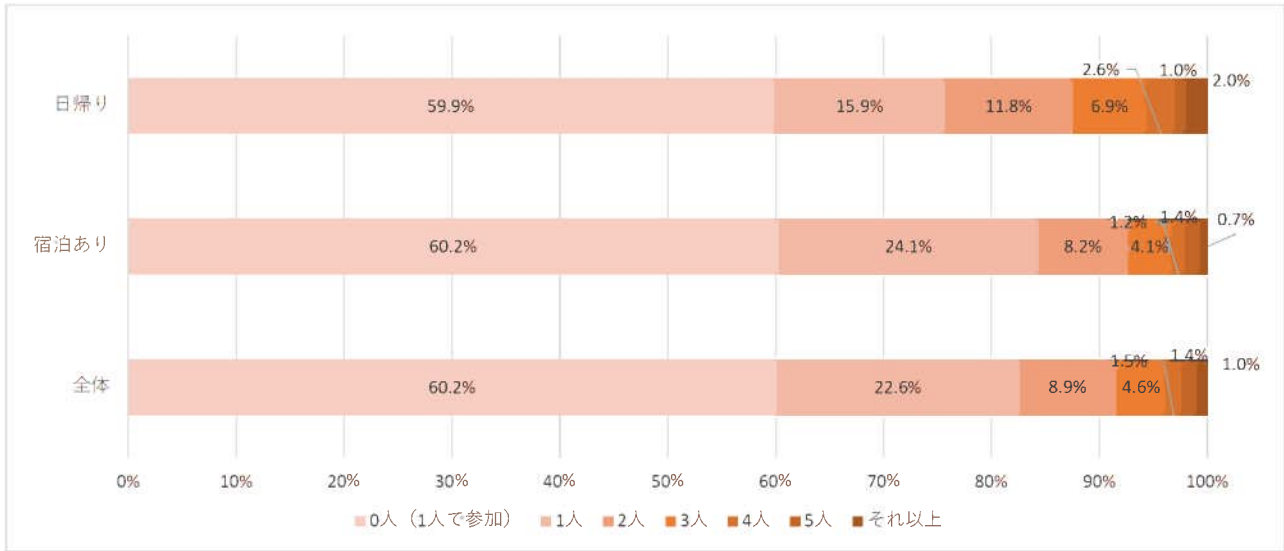
図表32 2. 同伴者数のうち性別の傾向

		0人 (1人で参加)	1人	2人	3人	4人	5人	それ以上	合計
男性	度数	1,290	450	184	107	35	22	13	2,101
	パーセント	61.4%	21.4%	8.8%	5.1%	1.7%	1.0%	0.6%	100%
女性	度数	388	180	63	21	6	16	14	688
	パーセント	56.4%	26.2%	9.2%	3.1%	0.9%	2.3%	2.0%	100%
全体	度数	1,678	630	247	128	41	38	27	2,789
	パーセント	60.2%	22.6%	8.9%	4.6%	1.5%	1.4%	1.0%	100%



図表32 3. 同伴者数のうち日帰り・宿泊の傾向

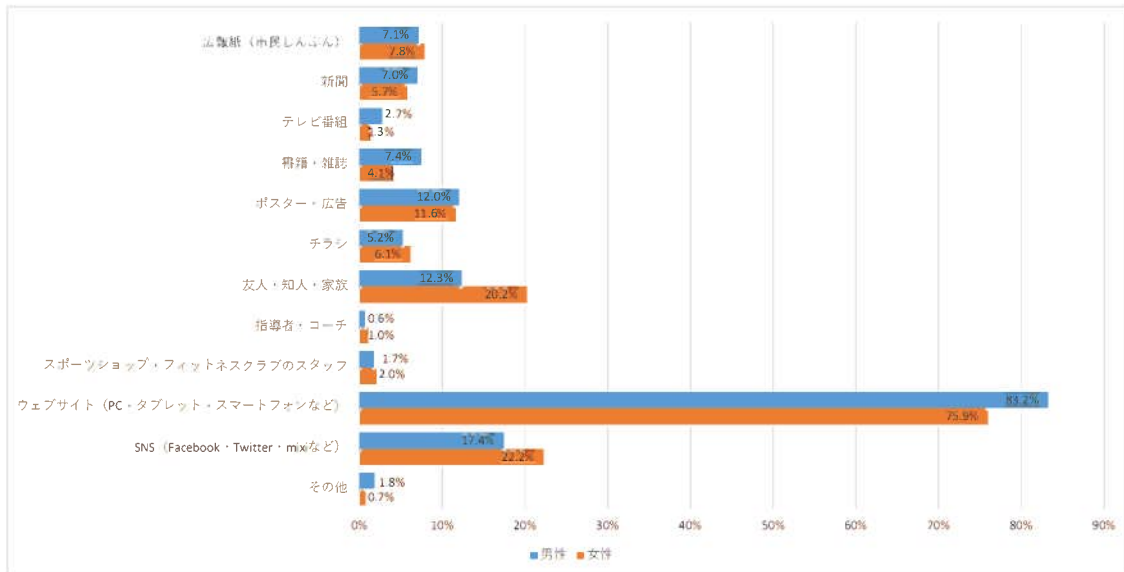
		0人 (1人で参加)	1人	2人	3人	4人	5人	それ以上	合計
日帰り	度数	305	81	60	35	13	5	10	509
	パーセント	59.9%	15.9%	11.8%	6.9%	2.6%	1.0%	2.0%	100%
宿泊あり	度数	1,373	549	187	93	28	33	17	2,280
	パーセント	60.2%	24.1%	8.2%	4.1%	1.2%	1.4%	0.7%	100%
全体	度数	1,678	630	247	128	41	38	27	2,789
	パーセント	60.2%	22.6%	8.9%	4.6%	1.5%	1.4%	1.0%	100%



4-6-1) 性別による情報入手ルート

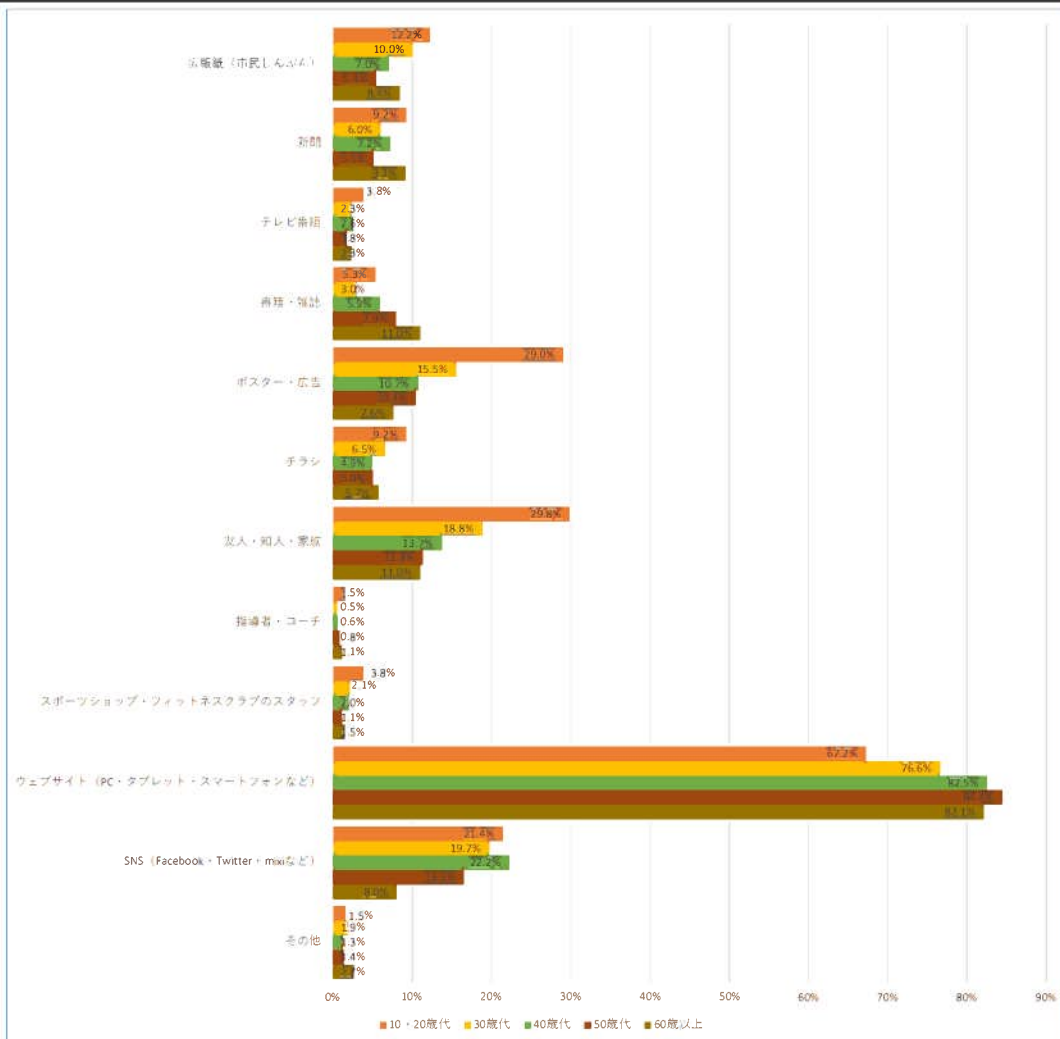
図表33. 1. 性別による情報入手ルート

	広報紙(市民しんぶん)	新聞	テレビ番組	書籍・雑誌	ポスター・広告	チラシ	友人・知人・家族	指導者・コーチ	スポーツショップ・フィットネスクラブのスタッフ	ウェブサイト(PC・タブレット・スマートフォンなど)	SNS(Facebook・Twitter・mixiなど)	その他	
男性	応答数	150	146	56	155	252	110	258	13	36	1,747	366	38
	パーセント	7.1%	7.0%	2.7%	7.4%	12.0%	5.2%	12.3%	0.6%	1.7%	83.2%	17.4%	1.8%
女性	応答数	54	39	9	28	80	42	139	7	14	523	153	5
	パーセント	7.8%	5.7%	1.3%	4.1%	11.6%	6.1%	20.2%	1.0%	2.0%	75.9%	22.2%	0.7%
合計	応答数	204	185	65	183	332	152	397	20	50	2,270	519	43
	パーセント	7.3%	6.6%	2.3%	6.6%	11.9%	5.5%	14.2%	0.7%	1.8%	81.4%	18.6%	1.5%



図表33. 2. 年代別の情報入手ルート

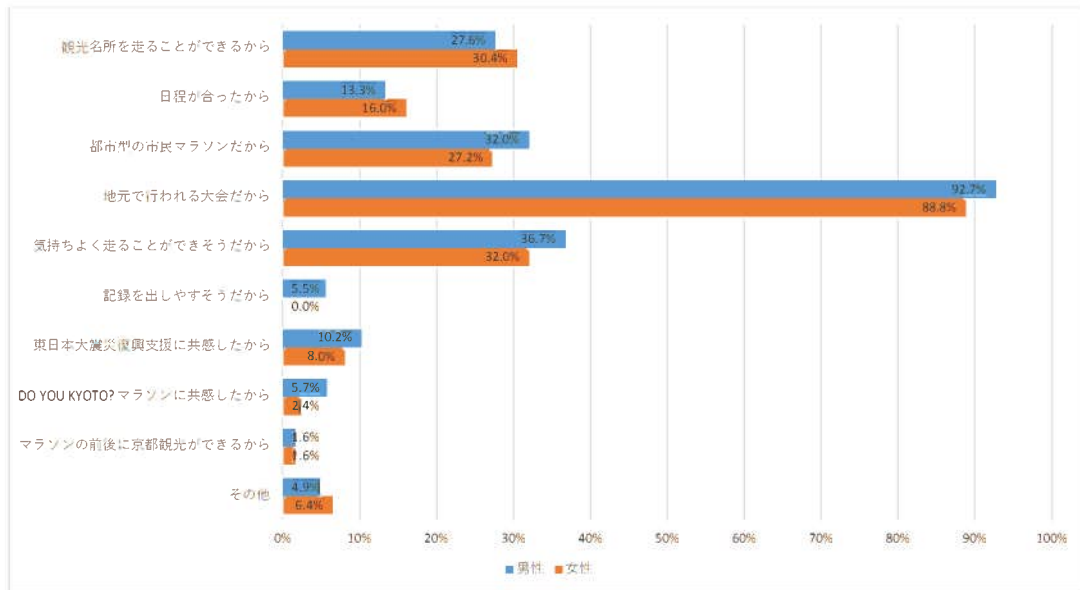
	広報紙(市民しんぶん)	新聞	テレビ番組	書籍・雑誌	ポスター・広告	チラシ	友人・知人・家族	指導者・コーチ	スポーツショップ・フィットネスクラブのスタッフ	ウェブサイト(PC・タブレット・スマートフォンなど)	SNS (Facebook・Twitter・mixiなど)	その他	年代別	
													回答数	パーセント
10・20歳代	16	12	5	7	38	12	39	2	5	88	28	2	回答数	パーセント
													12.2%	9.2%
30歳代	43	26	10	13	67	28	81	2	9	330	85	8	回答数	パーセント
													10.0%	6.0%
40歳代	75	78	28	64	115	53	148	6	22	889	239	14	回答数	パーセント
													7.0%	7.2%
50歳代	48	45	16	70	92	44	100	7	10	747	146	12	回答数	パーセント
													5.4%	5.1%
60歳以上	22	24	6	29	20	15	29	3	4	216	21	7	回答数	パーセント
													8.4%	9.1%
全体	204	185	65	183	332	152	397	20	50	2,270	519	43	回答数	パーセント
													7.3%	6.6%



4-7-1) 性別による参加理由

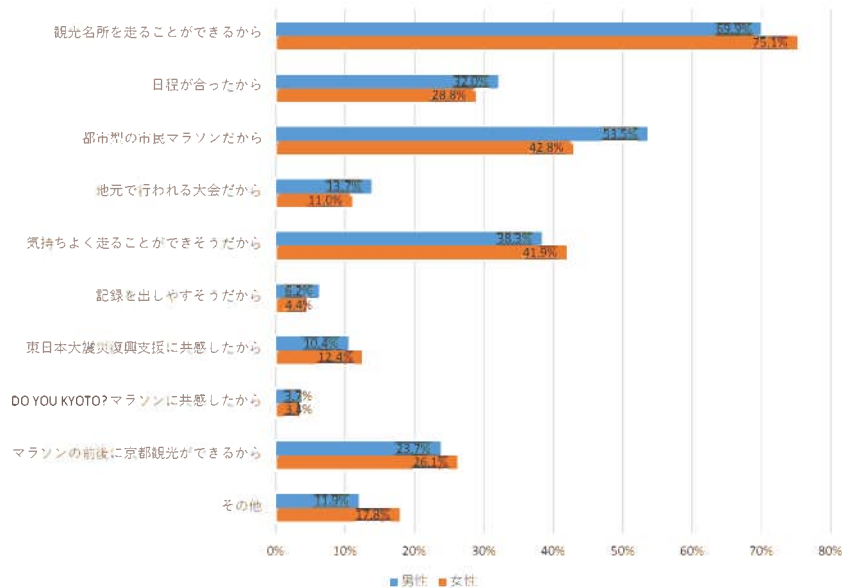
図表34. 1. 性別による参加理由（京都市内）

		観光名所を走ることができるから	日程が合ったから	都市型の市民マラソンだから	地元で行われる大会だから	気持ちよく走ることができそうだから	記録を出しやすそうだから	東日本大震災復興支援に共感したから	DO YOU KYOTO? マラソンに共感したから	マラソンの前後に京都観光ができるから	その他
男性	応答数	106	51	123	356	141	21	39	22	6	19
	パーセント	27.6%	13.3%	32.0%	92.7%	36.7%	5.5%	10.2%	5.7%	1.6%	4.9%
女性	応答数	38	20	34	111	40	0	10	3	2	8
	パーセント	30.4%	16.0%	27.2%	88.8%	32.0%	0.0%	8.0%	2.4%	1.6%	6.4%
全体	応答数	144	71	157	467	181	21	49	25	8	27



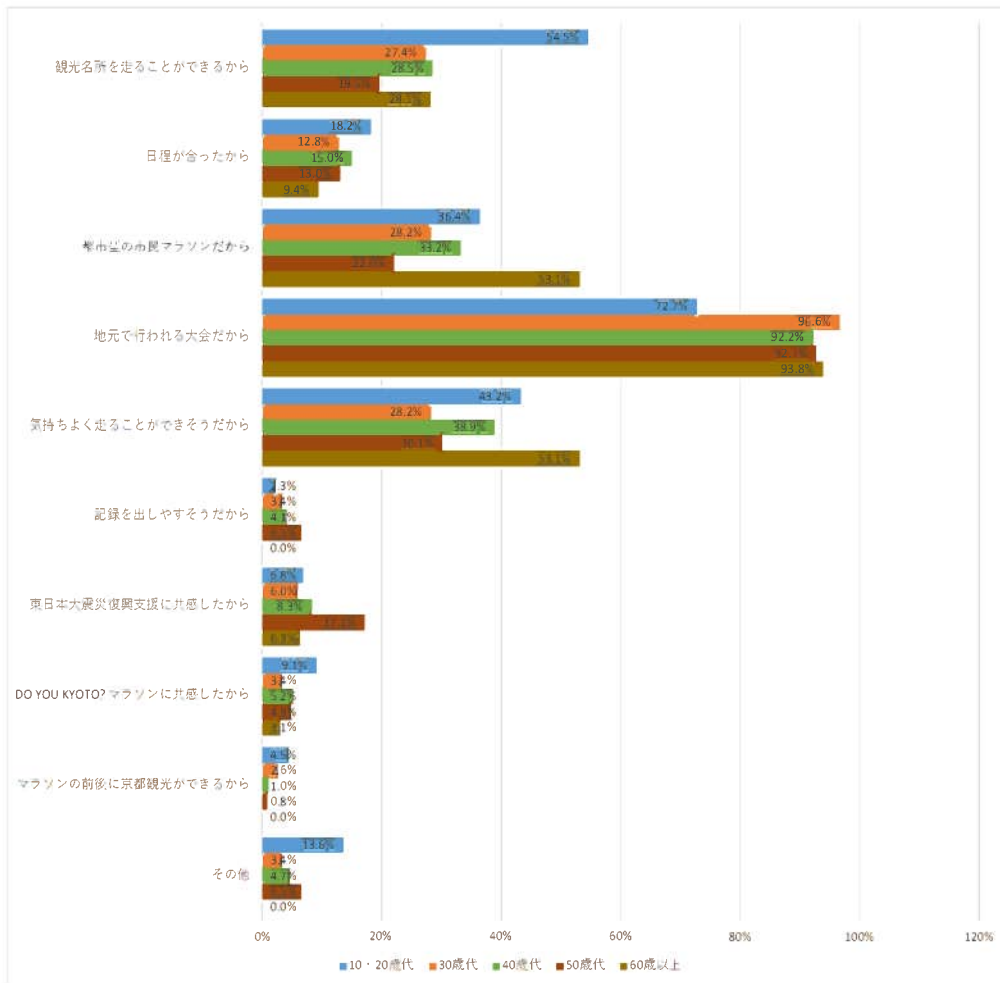
図表34. 2. 性別による参加理由（京都市外）

		観光名所を走ることができるから	日程が合ったから	都市型の市民マラソンだから	地元で行われる大会だから	気持ちよく走ることができそうだから	記録を出しやすそうだから	東日本大震災復興支援に共感したから	DO YOU KYOTO? マラソンに共感したから	マラソンの前後に京都観光ができるから	その他
男性	応答数	1,201	550	919	236	657	106	178	63	407	205
	パーセント	69.9%	32.0%	53.5%	13.7%	38.3%	6.2%	10.4%	3.7%	23.7%	11.9%
女性	応答数	425	163	242	62	237	25	70	19	148	101
	パーセント	75.1%	28.8%	42.8%	11.0%	41.9%	4.4%	12.4%	3.4%	26.1%	17.8%
全体	応答数	1,626	713	1,161	298	894	131	248	82	555	306



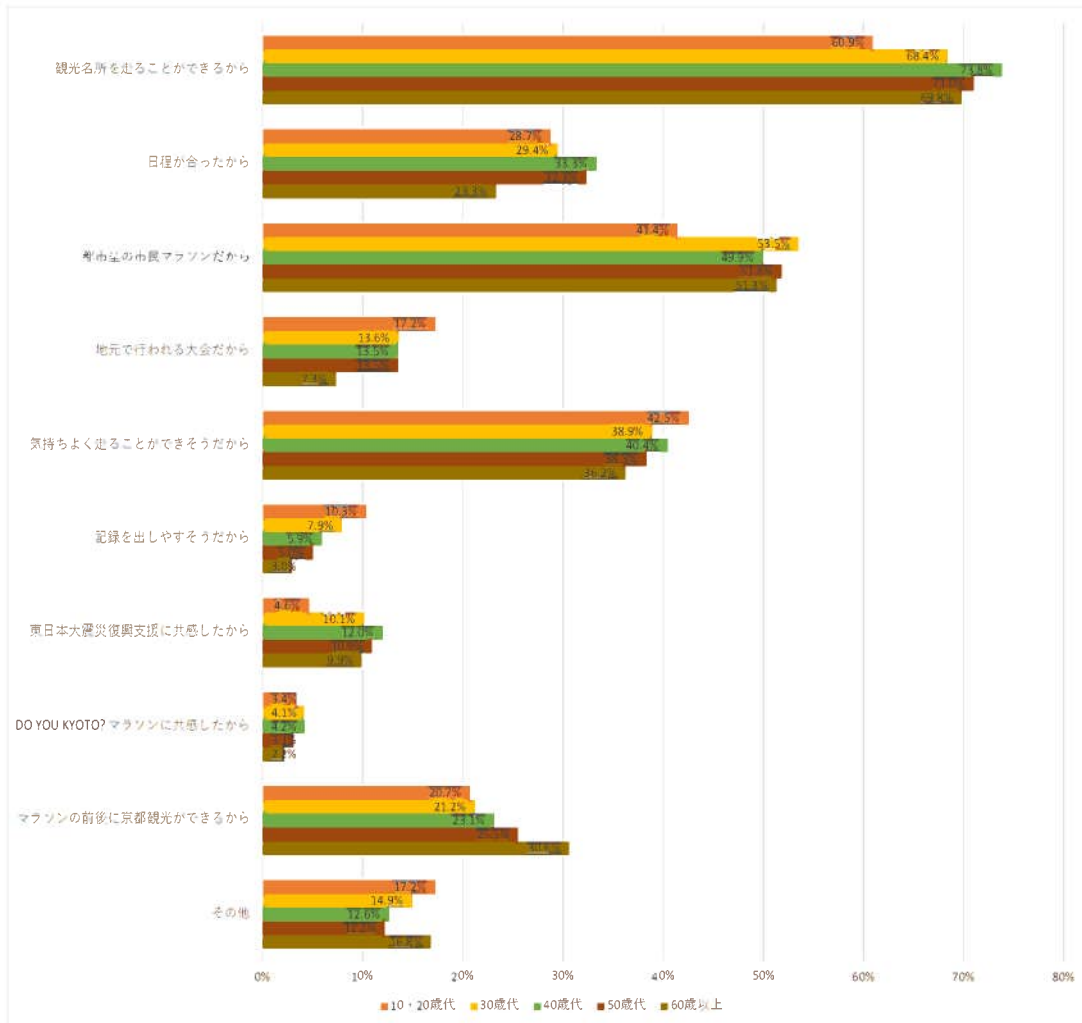
図表34. 2. 年代別の参加理由（京都市内）

		観光名所を走ることができ るから	日程が合っ たから	都市型の市 民マラソン だから	地元で行わ れる大会だ から	気持ちよく 走ることが できそうだ から	記録を出 しやすそう だから	東日本大震 災復興支援 に共感した から	DO YOU KYOTO? マラ ソンに共感し たから	マラソンの前 後に京都観光 ができるから	その他
10・20歳代	応答数	24	8	16	32	19	1	3	4	2	6
	パーセント	54.5%	18.2%	36.4%	72.7%	43.2%	2.3%	6.8%	9.1%	4.5%	13.6%
30歳代	応答数	32	15	33	113	33	4	7	4	3	4
	パーセント	27.4%	12.8%	28.2%	96.6%	28.2%	3.4%	6.0%	3.4%	2.6%	3.4%
40歳代	応答数	55	29	64	178	75	8	16	10	2	9
	パーセント	28.5%	15.0%	33.2%	92.2%	38.9%	4.1%	8.3%	5.2%	1.0%	4.7%
50歳代	応答数	24	16	27	114	37	8	21	6	1	8
	パーセント	19.5%	13.0%	22.0%	92.7%	30.1%	6.5%	17.1%	4.9%	0.8%	6.5%
60歳以上	応答数	9	3	17	30	17	0	2	1	0	0
	パーセント	28.1%	9.4%	53.1%	93.8%	53.1%	0.0%	6.3%	3.1%	0.0%	0.0%
全体	応答数	144	71	157	467	181	21	49	25	8	27



図表34. 2. 年代別の参加理由（京都市外）

	観光名所を走ることができるから	日程が合ったから	都市型の市民マラソンだから	地元で行われる大会だから	気持ちよく走ることができそうだから	記録を出しやすそうだから	東日本大震災復興支援に共感したから	DO YOU KYOTO? マラソンに共感したから	マラソンの前後に京都観光ができるから	その他
10・20歳代	53	25	36	15	37	9	4	3	18	15
パーセント	60.9%	28.7%	41.4%	17.2%	42.5%	10.3%	4.6%	3.4%	20.7%	17.2%
30歳代	216	93	169	43	123	25	32	13	67	47
パーセント	68.4%	29.4%	53.5%	13.6%	38.9%	7.9%	10.1%	4.1%	21.2%	14.9%
40歳代	654	295	442	120	358	52	106	37	205	112
パーセント	73.8%	33.3%	49.9%	13.5%	40.4%	5.9%	12.0%	4.2%	23.1%	12.6%
50歳代	541	246	395	103	292	38	83	24	194	93
パーセント	71.0%	32.3%	51.8%	13.5%	38.3%	5.0%	10.9%	3.1%	25.5%	12.2%
60歳以上	162	54	119	17	84	7	23	5	71	39
パーセント	69.8%	23.3%	51.3%	7.3%	36.2%	3.0%	9.9%	2.2%	30.6%	16.8%
全体	1,626	713	1,161	298	894	131	248	82	555	306



4-8) 京都マラソンのボランティア経験

図表35. 京都マラソンのボランティア経験

性別	年代	10・20歳代	度数	参加したこ	参加したこ	合計
				とがある	とがない	
男性	10・20歳代	度数	7	81	88	
		パーセント	8.0%	92.0%	100%	
	30歳代	度数	10	290	300	
		パーセント	3.3%	96.7%	100%	
	40歳代	度数	35	738	773	
		パーセント	4.5%	95.5%	100%	
	50歳代	度数	36	647	683	
		パーセント	5.3%	94.7%	100%	
	60歳以上	度数	11	221	232	
		パーセント	4.7%	95.3%	100%	
合計	度数	99	1,977	2,076		
	パーセント	4.8%	95.2%	100%		
女性	10・20歳代	度数	2	40	42	
		パーセント	4.8%	95.2%	100%	
	30歳代	度数	6	124	130	
		パーセント	4.6%	95.4%	100%	
	40歳代	度数	16	275	291	
		パーセント	5.5%	94.5%	100%	
	50歳代	度数	17	178	195	
		パーセント	8.7%	91.3%	100%	
	60歳以上	度数	3	27	30	
		パーセント	10.0%	90.0%	100%	
合計	度数	44	644	688		
	パーセント	6.4%	93.6%	100%		
全体	10・20歳代	度数	9	121	130	
		パーセント	6.9%	93.1%	100%	
	30歳代	度数	16	414	430	
		パーセント	3.7%	96.3%	100%	
	40歳代	度数	51	1,013	1,064	
		パーセント	4.8%	95.2%	100%	
	50歳代	度数	53	825	878	
		パーセント	6.0%	94.0%	100%	
	60歳以上	度数	14	248	262	
		パーセント	5.3%	94.7%	100%	
合計	度数	143	2,621	2,764		
	パーセント	5.2%	94.8%	100%		



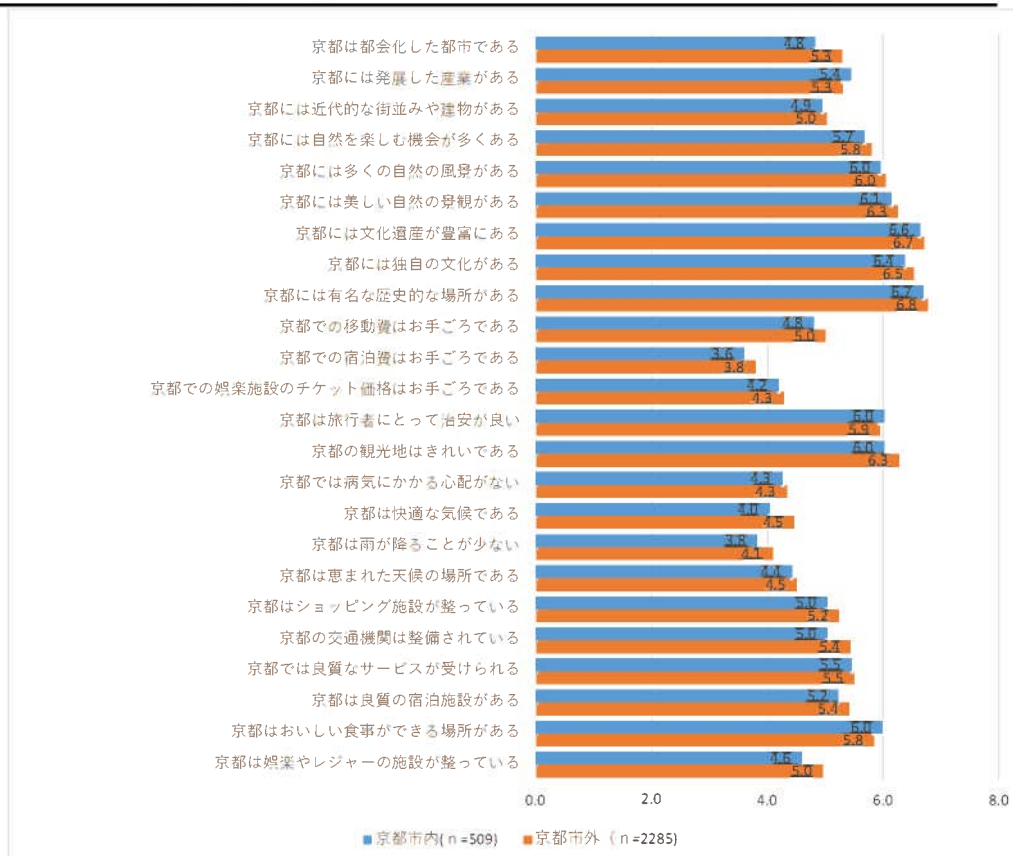
5. 京都について

5-1) 京都のイメージ

図表36. 京都のイメージ

「全くそう思わない」=1～「非常にそう思う」=7

	平均値		
	京都市内(n=509)	京都市外 (n=2285)	全体(N=2794)
京都は都会化した都市である	4.8	5.3	5.2
京都には発展した産業がある	5.4	5.3	5.3
京都には近代的な街並みや建物がある	4.9	5.0	5.0
京都には自然を楽しむ機会が多くある	5.7	5.8	5.8
京都には多くの自然の風景がある	6.0	6.0	6.0
京都には美しい自然の景観がある	6.1	6.3	6.2
京都には文化遺産が豊富にある	6.6	6.7	6.7
京都には独自の文化がある	6.4	6.5	6.5
京都には有名な歴史的な場所がある	6.7	6.8	6.8
京都での移動費はお手ごろである	4.8	5.0	5.0
京都での宿泊費はお手ごろである	3.6	3.8	3.8
京都での娯楽施設のチケット価格はお手ごろである	4.2	4.3	4.3
京都は旅行者にとって治安が良い	6.0	5.9	6.0
京都の観光地はきれいだである	6.0	6.3	6.2
京都では病気になる心配がない	4.3	4.3	4.3
京都は快適な気候である	4.0	4.5	4.4
京都は雨が降ることが少ない	3.8	4.1	4.0
京都は恵まれた天候の場所である	4.4	4.5	4.5
京都はショッピング施設が整っている	5.0	5.2	5.2
京都の交通機関は整備されている	5.0	5.4	5.4
京都では良質なサービスが受けられる	5.5	5.5	5.5
京都は良質な宿泊施設がある	5.2	5.4	5.4
京都はおいしい食事ができる場所がある	6.0	5.8	5.9
京都は娯楽やレジャーの施設が整っている	4.6	5.0	4.9

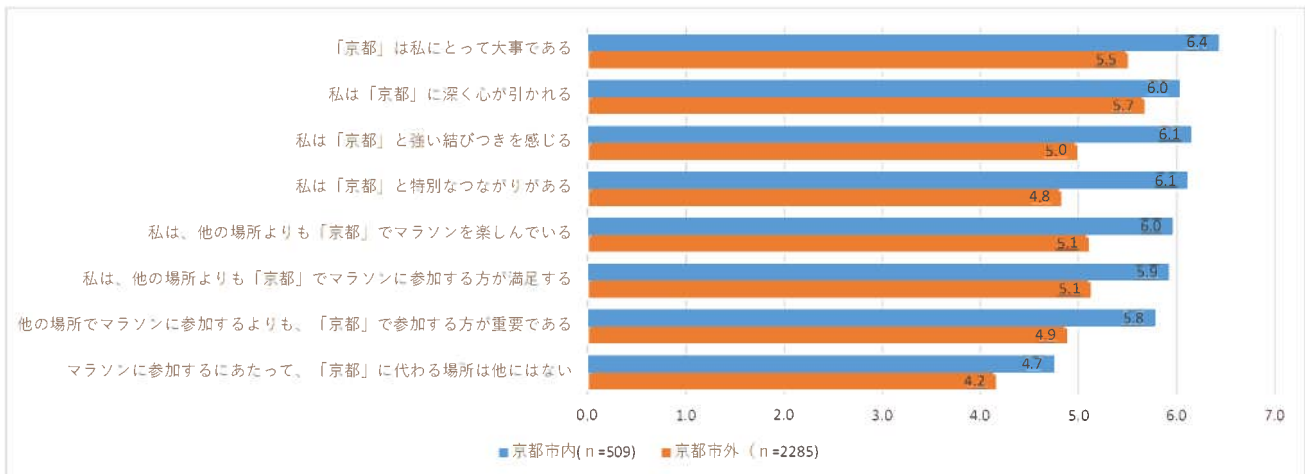


5-2) 京都への愛着

図表37. 京都への愛着

「全くそう思わない」=1～「非常にそう思う」=7

	京都市内(n=509)	京都市外 (n=2285)	全体(N=2794)
「京都」は私にとって大事である	6.4	5.5	5.7
私は「京都」に深く心が引かれる	6.0	5.7	5.7
私は「京都」と強い結びつきを感じる	6.1	5.0	5.2
私は「京都」と特別なつながりがある	6.1	4.8	5.1
私は、他の場所よりも「京都」でマラソンを楽しんでいる	6.0	5.1	5.3
私は、他の場所よりも「京都」でマラソンに参加する方が満足する	5.9	5.1	5.3
他の場所でマラソンに参加するよりも、「京都」で参加する方が重要である	5.8	4.9	5.0
マラソンに参加するにあたって、「京都」に代わる場所は他にはない	4.7	4.2	4.3

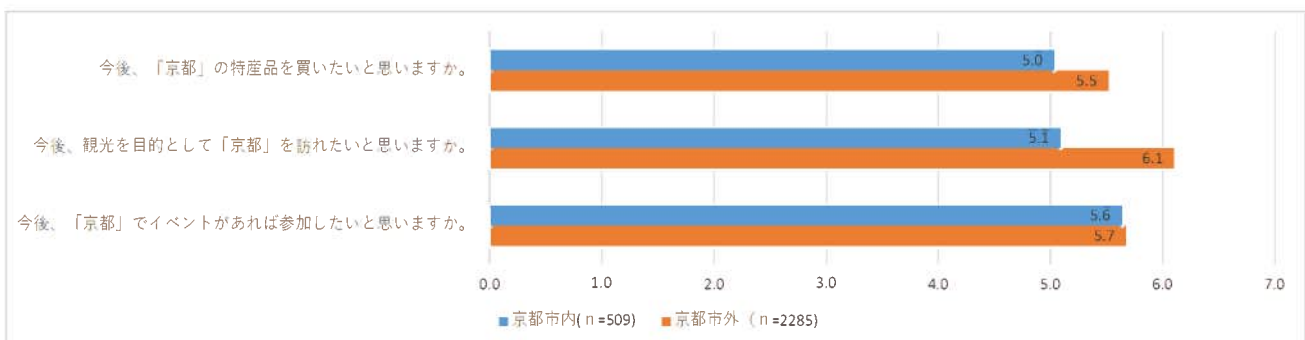


5-3) 京都への思い

図表38. 京都への思い

「全くそう思わない」=1～「非常にそう思う」=7

	京都市内(n=509)	京都市外 (n=2285)	全体(N=2794)
今後、「京都」の特産品を買いたいと思いますか。	5.0	5.5	5.4
今後、観光を目的として「京都」を訪れたいと思いますか。	5.1	6.1	5.9
今後、「京都」でイベントがあれば参加したいと思いますか。	5.6	5.7	5.7



6. 自由記述意見について

回答者の 56.0%にあたる 1,556 人から自由記述意見をいただいた。その中で、特徴的な意見を以下のとおり 17 のカテゴリーに分けて列記する。併せて、大会事務局から説明を付記している。

(1) 定員・エントリー

東日本大震災復興支援枠を継続してほしい。
サブ 3.5 枠で走らせていただき、無事に目標を達成することができました。どうもありがとうございました。
コース全般のキャパに対し定員が多過ぎと感じた以外は、総合的に満足度の高い、他の人にも参加を勧めたい大会でした。

【次回大会へ向けて】

京都マラソンでは、メインコンセプトの一つとして東日本大震災復興支援を掲げ、皆さまからお寄せいただいた義援金の寄付、スタート時の黙とう、東北 3 県写真展、物産展等を実施しています。東日本大震災復興支援枠もその一環として設けています。皆さまのご理解・ご協力をいただきながら、今後も息の長い支援に取り組んでまいります。

募集枠及び定員については、皆さまからのご意見に耳を傾けながら、安心・安全且つ快適に走っていただけるよう今後も改善に努めてまいります。

(2) ランナー受付

ゼッケンは追加料金がかかってもいいので事前送付していただけるとありがたいです。
京都駅から前日受付の会場に行くまで距離があるので京都駅近くでの受付の方が便利です。

【次回大会へ向けて】

ナンバーカードの事前送付については、安心・安全な大会運営のためにはランナーの皆さんに本人確認をしたうえで直接お渡しすることが重要であると考えております。このため、ランナー受付では、スムーズな対応を心掛けており、次回大会においても運営面の更なる改善に努めてまいります。

京都駅近くでの受付については、利便性が高いと思われませんが、全てのランナーの受付を行うことのできる適切な会場は、物理的にないのが現状です。

何卒、ご理解をお願いします。

(3) オフィシャルグッズ

おこしやす広場のブースで販売されている記念品、特にTシャツの数量が非常に少ない。

オフィシャルグッズが初日で完売してるのが多くて目当てのものが買えなくて残念でした。

【次回大会へ向けて】

オフィシャルグッズにつきましては、大変ご好評をいただき、比較的早い段階から完売しておりました。誠に申し訳ございません。

種類及び数量を充実させ、より魅力ある商品を十分に提供することができるよう努めてまいります。

(4) スタート会場

スタート地点のトイレの数は、他の大会に比べて、ダントツに充実していると思います。案内の方もおられて便利です。

スタート時に荷物預け場所が分かりにくく、その後の整列場所やトイレの場所の表示が分かりにくかった。

スタート直前までの寒さ予防を考えてくれている「衣類リサイクル（廃棄）サービス」はすごく助かりました。

スタート会場のハンナリーズアリーナをもう少し早く開館してほしい。また、パンフには同アリーナは土足厳禁と記載してあったので、わざわざスリッパを持参したがそのまま入れた。正しい情報の記載を望みます。

【次回大会へ向けて】

スタート会場となった西京極総合運動公園は大規模な改修工事があり、ランナーの皆さまにも影響が生じてしまい申し訳ございません。

トイレについても、公園内の既設トイレの改修工事を行うことから京都マラソンとして公園内に4箇所約180基の仮設トイレを配置し、ランナーの皆さまへの影響を最小限に止めるよう努めました。また、補助競技場が使用できないことから、スタートブロックについてもGブロックを新設しました。

次回大会では、ランナーの皆さまに影響が生じる改修工事の予定はございません。

衣類回収サービスについて、京都マラソンでは、スタート時の号砲までの寒さ対策として不要になった古着等を着用し、回収する取り組みを行っています。スタート前の寒さ対策としてこれからも是非ご利用ください。

ハンナリーズアリーナや市民スポーツ会館等の各更衣室について、表記内容を見直すこととし、オープンの時間についても少しでも早められるように努めてまいります。

(5) スタートセレモニー

オープニングセレモニーは、グランド中央でやってくれば、みんなで盛り上がると思います。

あの寒い中での開会セレモニーが長すぎる。走るために薄着になってから、荷物を預けてスタートするまで1時間以上もあることを改善していただきたい。

スタートセレモニー前のアナウンスの中国語の時間が長過ぎる。外国人向けなら共通語として英語をメインに行うべきだと思う。

【次回大会へ向けて】

スタートセレモニーについては、スタート直前のランナーの皆さまが盛り上げられるように検討してまいりました。

2017大会では、Gブロックが新設されたことから、多くのスピーカーなどを配置し、一体感が損なわれないように配慮いたしました。

セレモニー中における寒さ対策については、不要になった衣類などを着用しリサイクルできる取組を行っておりますので、是非こちらもご活用ください。

京都マラソンでは、海外からのランナーも多く参加していただいております、とりわけ中国語圏からのランナーも多く参加していただいております。これらのランナーへの案内の必要性があり行っておりますが、次回大会では、より簡潔・明瞭なものとなるようその内容を精査してまいります。

(6) 給水・給食

サブ5のペースで走っていましたが、エイドで食べ物が終わってたことが多かったです。遅い人ほど、補給が必要だと思うのでよろしくお願いします。

給食の黄金糖はおいしかったが、道路に包み紙が散乱したので、提供の仕方を考慮する必要あり。

給水所でスポーツドリンクの紙コップが不足しており、水の紙コップに入れている箇所がありましたが、わかりやすく表示をしてほしかったです(声かけがある所とない所がありました)。

【次回大会へ向けて】

給食のメニューについては、ランナーの皆さまに満足してもらえるよう様々な商品の提供に努めておりますが、提供が終わっている箇所があり、誠に申し訳ございませんでした。次回大会では、十分な個数を確保し、不足のないよう提供できるよう努めてまいります。

黄金糖については、その場で食べたい方と後で食べたい方がおられるため、包装したまま提供致しました。しかし、その結果、ご指摘の包み紙の散乱が見受けられたため、ランナー通過後、スタッフ・ボランティアの皆さんが清掃活動を行いました。次回大会では、なるべくごみが散乱しないように工夫してまいります。

スポーツドリンクを水の紙コップに入れて提供したことについて、そのアナウンスが十分になされておらず大変申し訳ございません。次回大会では、余裕をもって紙コップを配置したうえで、不足等で変更があった場合は、ランナーの皆さまへお知らせするように十分配慮いたします。

(7) トイレ (コース沿道)

コース上のトイレの案内について、次のトイレが何キロ先にあるとの案内は助かりますが、トイレの数も同時に案内いただけると更に助かります。直近または次のトイレのどちらを利用するかの判断材料となります。

コース内のトイレ数 (1 箇所あたりの数) が少ない。他のマラソン大会に比べ、どこも並んでおり待ち時間が長かった。

【次回大会へ向けて】

トイレについては、これまでから、既設・仮設を含め、十分な数を確保できるよう努めてまいりましたが、一時的に混雑する箇所や時間帯がなお生じ、ご不便をおかけしている現状があります。

次回大会では、特にスタート会場やスタート直後のトイレについて、基数を増やすことを検討し、ご不便を少しでも解消できるよう努めてまいります。

また、次のトイレ案内への基数の表示ができるかについても併せて検討してまいります。

(8) 時間制限関門・医療救護

関門ごとに次の関門地点と時間が看板で案内されてましたが、間の地点でも案内を設置していただきたいです。また、他のランナーがボランティアの方に次の関門地点と場所を尋ねられてましたが、ボランティアの方が説明できないという場面を見かけました。

他大会では AED の講習会がたくさんあり、マラソン当日に付けられるステッカー等を受講したランナーやボランティアに配布していらっしゃいます。もちろん京都マラソンのメディカルランナーは重要だと思いますが、一般のランナーやボランティア同士で助け合える体制を作ることで AED の認知度がさらに向上するのではないのでしょうか。

【次回大会へ向けて】

ボランティアの方々には様々な業務をお願いしている中で、時間制限関門の場所等について十分にご案内できないこともあったかとは思いますが、看板の設置場所やボランティアスタッフへの研修方法の改善などを検討してまいります。

AED講習会について、京都マラソンでは、大会前日の午前と午後の2回、ランナー受付会場でランナーやボランティアの方に心肺蘇生法や AED の使用方法について

「ファーストエイド講習」を行っています。ご意見にあるように、一般のランナーやボランティア同士で助け合える体制を作ることが一秒を争う医療救護において極めて重要であり、今後さらに推進してまいります。

(9) ニックネームゼッケン・仮装

仮装禁止にも関わらず「たい焼き」の被り物をかぶり走っていたランナーには失望。どうしてもその人ばかりに声援が集中し、周りのランナーには大迷惑でした。

ニックネームゼッケンをつけさせていただいたおかげで、ボランティアの方、沿道の方からもたくさん声をかけていただき、力をもらえました。

【次回大会へ向けて】

仮装については、ランナーが密集している中で周囲のランナーに危険が生じる可能性もあるため禁止しています。引き続き、しっかりと周知に努めてまいります。

ニックネームゼッケンについては、ランナーへ直接声援を送れることから大変ご好評をいただいております。引き続き、実施してまいりますので、次回大会においてもお気に入りのニックネームで受ける声援にご期待ください。

(10) コースについて

2016年の時よりもコース幅の広い道になったので、走りやすくなった。

コース変更など年々進化して、歴史を大切にしながらも最先端を取り入れていく京都魂を感じます。魅力ある大会として継続していくことを願います。ありがとうございました。

コースについては、終盤に折り返しが多いのが残念。河川敷は走り慣れないと難しいと感じました。

【次回大会へ向けて】

北山エリアの折り返しが多いとのご意見をいただいておりますので、2017大会では、宝ヶ池の折り返し地点を廃止しました。また、片側1車線道路であった下鴨中通から2車線道路である下鴨本通へコースを変更いたしました。河川敷については、走路幅を確保するためネットフェンスを導入する等の改善を重ねており、次回大会へ向けてより走りやすい走路となるよう検討を重ねてまいります。

(1 1) フィニッシュ会場

フィニッシュ後にビニール袋を配ってくれたのは気遣いを感じ非常に嬉しかった。

特に感心するのは、フィニッシュ後の記録証渡し～荷物受け取り～更衣室～おつかれさま広場～会場出口までのスムーズさと快適さです。今まで自分が参加した他の大会には無い気持ち良さを感じます。スタッフの皆さんの運営もレベルが高いのだと思います。

荷物を預かっていただけるのは非常に有り難いですが、トラックの場所がバラバラで分かりにくく、ゴール後、荷物を受け取るのに時間がかかったため体が冷えました。

【次回大会へ向けて】

フィニッシュ会場について、完走されたランナーの疲労を考慮しつつ、スムーズな動線が確保できるよう改善を重ねております。引き続きランナーの目線に立って、更なる改善に努めてまいります。

(1 2) おこしやす広場・おつかれさま広場

舞妓さんとの記念撮影はぜひ続けてほしい。

女性更衣室が、帰りのおつかれさま広場と別会場だったので、利用しにくかったです。同行の男性ランナーによると、お味噌汁と足湯サービスは男性ばかりだったとのこと。

【次回大会へ向けて】

京都らしさを満喫していただけるよう、舞妓さんとの記念撮影は今後も続けてまいります。

女子更衣室がおつかれさま広場と離れているという課題については、ご不便をお掛けいたしまして、大変申し訳ございません。ただ、会場の収容能力に限度があるため、やむなくおつかれさま広場を設けている「みやこめっせ」とは別会場にも更衣スペースを設けているのが実情です。しかしながら、現状については課題として認識しており、この点、今後も様々な検討を重ねてまいります。

(1 3) 参加賞・メダル・完走証

参加賞は Buff 以外も設けて選択制にしてほしい。

フィニッシャータオル、メダルは嬉しかったのですが、関門などで完走出来なかったランナーにも、次回も参加したくなる工夫？を考えてもらえればと思います！

【次回大会へ向けて】

現在、参加賞として採用している Buff については、防寒その他様々な用途があり、多くの皆さまからご好評をいただいています。他の品を希望するご意見をいただい

いますが、手配の都合上、1品に限らせていただいております。ご理解のほどよろしくお願い申し上げます。

関門にかかったり、体調不良で完走できなかったランナーの残念・無念の思いは、いかばかりかとお察しいたします。事務局といたしましては、1人でも多くの方にフィニッシュの感動を味わっていただけるよう大会運営のより一層の改善を進め、再度チャレンジしたいと思っただけの魅力的な大会づくりに努めてまいります。

(14) 宿泊

宿が年々取りにくくなり、値段も上がり気味なのがづらい。

「JTB 西日本 京都マラソン 2017」から宿泊施設の予約をしたのですが、朝食時間が7時からであり、宿のスタッフに聞くと、それより開始を早くする対応ができないと返答がありました。7時半ごろの電車に乗ろうと思うと、間に合わない・時間が足りないと感じたため、結局、朝食サービスを利用しませんでした。

【次回大会へ向けて】

京都マラソンが宿泊案内を行っているホテル等に対しましては、ランナーの皆さまのために朝食時間を早めるなどのサービスを要請しており、これに応えていただいているホテルもございます。引き続き、宿泊サービスの向上に努めてまいります。

(15) 沿道盛り上げ隊・沿道応援

学生時代を京都で過ごした身として、再び京都の町をあんなに応援してもらい、サポートしてもらいながら走ることができて感謝しています。

「盛り上げ隊」と一般の方と区別がつかないくらいの応援で、本当に楽しく走らせていただきました。

【次回大会へ向けて】

京都マラソンでは、ランナーの皆さまと声援を送る応援の方々との距離が近く、沿道からの途切れない熱い声援が魅力の一つとなっております。また、「沿道盛り上げ隊」についても様々な団体がエールを送っています。

次回大会においても、多くのランナーがエネルギーをチャージできるような、温かいおもてなしと熱い声援が沿道で送られるよう努めてまいります。

(16) 海外ランナー

何回か京都マラソンを走っていますが、どんどんいい大会になっていて、そして海外からの参加者が増えていて国際化にも対応できていて、素晴らしいと思います。

【次回大会へ向けて】

京都マラソンには、海外からの参加者が年々増加しており、2017大会では、29

の国と地域から 2,642 人の海外ランナーの方にご参加いただきました。言語でお困りになることがないように、500 人を超える通訳ボランティアや案内表示の多言語表示を行っております。今後も、ランナーの皆さま全員に感動を味わっていただけるよう更なる改善に努めてまいります。

(17) ボランティア

ただ立っているだけ、やらされている感のあるボランティアの方が多き大会もありますが、京都の方達は本当に 1 人 1 人一生懸命応援してくれたのが伝わりました。

ボランティアの方々がとても素晴らしかったです。来年は抽選に外れてもボランティアで参加してみようかなと思います。

【次回大会へ向けて】

京都マラソンは、「走る人、応援する人、支える人、みんなが主役」を合言葉に、8,000 人を超えるボランティアの方々に参加していただいております。このようなボランティアの方々に支えていただいていることは、大変有り難いことであり、引き続き、みんなが主役の大会として充実したものになるようにいたします。

また、ボランティアとして京都マラソンに参加していただければ、別の視点から京都マラソンをお楽しみいただけると思います。ランナーとしてもボランティアとしても、京都マラソンにぜひご参加ください。

(18) 大会運営全般

世界文化遺産、観光名所を巡るコースは景色がよく、沿道からたくさんの温かい応援をいただき、とても楽しい 42.195Km でした。

世界遺産を回ることができ、応援が途切れることがないコース。受付からゴール終了まで、人も街も温かい。京都マラソンを思い切り楽しみました。来年も、再来年も、ずっと続くことを、また参加できることを期待しています。

【次回大会へ向けて】

ランナーの皆さまからいただいたご意見を踏まえつつ、引き続き「走る人、応援する人、支える人、みんなが主役」の大会となるよう運営の改善に努めるとともに、より多くの方に満足いただける更に魅力ある大会へと進化するよう全力で取り組んでまいります。

今後とも、忌憚のないご意見・ご要望やご感想をお寄せください。

京都マラソン 2017 マネジメント・リサーチ・チーム

同志社大学スポーツ健康科学部 教授 二宮浩彰

龍谷大学経営学部 教授 松永敬子

立命館大学スポーツ健康科学部 教授 長積 仁

データ分析チーム

同志社大学スポーツ健康科学部スポーツ・マーケティング研究室

マラソン調査研究チーム

研究代表 二宮浩彰

<二宮研究室ゼミ大学院生>

：胡威 辻和真